

新居小学校屋内運動場大規模改造工事

図面リスト

建築改修工事図面			電気設備改修工事図面			機械設備改修工事図面					
NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE	NUMBER	DRAWING	SCALE
A - 1	改修工事 特記仕様書	—	A - 24	各部改修 詳細図 (倉庫、)	1:50	E - 1	電気設備 特記仕様書	—	M - 1	機械設備 特記仕様書	—
A - 2	改修工事 特記仕様書	—	A - 25	各部改修 詳細図 (下屋 西面)	1:50	E - 2	電気設備 盤結線図・照明器具姿図	—	M - 2	機械設備 凡例・器具機器表	—
A - 3	改修工事 特記仕様書	—	A - 26	1F 天井伏図	1:60	E - 3	電気設備 コンセント設備図(1階) 改修後	1:100	M - 3	機械設備 配置図	1:300
A - 4	改修工事 特記仕様書	—	A - 27	RF 天井伏図	1:60	E - 4	電気設備 電灯照明設備図(1階) 改修後	1:100	M - 4	機械設備 1階平面図(改修前)	1:100
A - 5	内外仕上表	—	A - 28	屋根改修工事 屋根伏図・各部詳細図	1:100	E - 5	電気設備 電灯照明設備図(2階) 改修後	1:100	M - 5	機械設備 1階平面図(改修後)	1:100
A - 6	配置図兼仮設計画図	1:300	A - 29	ケーブル・鋼製建具表 (SD)	—	E - 6	電気設備 電灯照明設備図(1階) 撤去図	1:100	M - 6	機械設備 1階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50
A - 7	1F 平面図(改修前)	1:100	A - 30	ケーブル・鋼製建具表 (LSD)	—	E - 7	電気設備 電灯照明設備図(2階) 撤去図	1:100			
A - 8	1F 平面図(改修後)	1:100	A - 31	ケーブル・鋼製建具表 (AD・AW)	—	E - 8	電気設備 弱電器具姿図	—			
A - 9	RF 平面図(改修前・後)・仮設計画図	1:100	A - 32	ケーブル・木製建具表	—	E - 9	電気設備 弱電設備図(配置図)	1:200			
A - 10	改修前後 立面図 (南面)	1:100	A - 33	ケーブル・トイレブース	—	E - 10	電気設備 弱電設備図(1階) 改修後	1:100			
A - 11	改修前後 立面図 (北面)	1:100	A - 34	部分詳細図	—	E - 11	電気設備 弱電設備図(2階) 改修後	1:100			
A - 12	改修前後 立面図 (東・西面)	1:100	A - 35	部分詳細図	—	E - 12	電気設備 弱電設備図(1階) 撤去図	1:100			
A - 13	外壁吹付工事 (南・東面)	1:100	A - 36	体育施設 配置図	1:60	E - 13	電気設備 弱電設備図(2階) 撤去図	1:100			
A - 14	外壁吹付工事 (北・西面)	1:100	A - 37	屋外撤去復旧図	1:300	E - 14	電気設備 自動火災報知設備図(1階) 改修後	1:100			
A - 15	各部改修 詳細図 (玄関・ホール)	1:50・1:30				E - 15	電気設備 自動火災報知設備図(2階) 改修後	1:100			
A - 16	各部改修 詳細図 (アリーナ)	1:100				E - 16	電気設備 自動火災報知設備図(1階) 撤去図	1:100			
A - 17	各部改修 詳細図 (アリーナ)	1:100	アスベスト解体撤去工事図面			E - 17	電気設備 自動火災報知設備図(2階) 撤去図	1:100			
A - 18	各部改修 詳細図 (アリーナ)	1:100	As - 1	アスベスト解体撤去工事 撤去図	1:100	E - 18	電気設備 既設設備撤去図	1:100			
A - 19	各部改修 詳細図 (アリーナ)	1:100							建築改修工事図面		A - 37
A - 20	各部改修 詳細図 (アリーナ)	1:60・1:20							アスベスト解体撤去工事図面		As - 1
A - 21	各部改修 詳細図 (通路・みんなのトイレ)	1:50・1:30							電気設備改修工事図面		E - 18
A - 22	各部改修 詳細図 (男子トイレ)	1:50・1:30							機械設備改修工事図面		M - 6
A - 23	各部改修 詳細図 (女子トイレ)	1:50・1:30							合 計		62

工 事 名 新居小学校屋内運動場大規模改修工事

工事概要

- 1. 工事場所 伊賀市西高倉地内
- 2. 工事内容 下記の事項に拠る

< 1 - 1 >

建築工事: (外部工事)...屋根防水及び堅樋改修、外壁塗装改修、建具改修、他
(内部工事)...床改修、間仕切り改修、内壁補修及び塗装改修、建具改修
防球ネット改修、カーテン及び縦帳改修、他

電気設備工事: 照明設備改修、放送設備改修、火災報知設備改修、外部配管改修、他
機械設備工事: 給排水設備改修、衛生機器設備改修、他

上記に伴う、撤去処分工事

上記に伴う、建築改修工事

上記に伴う、電気改修工事

上記に伴う、機械改修工事

< 2 - 1 >

上記に伴う、廃材処分工事

建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（最新版）」
「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改修仕様」）による。

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に 印の付いたものを適用する。

(2)特記事項は、 の付いたものを適用する。

印が付かない場合は、 印の付いたものを適用する。

印と 印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の () 内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） 公共建築改修工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
	② 書類の書式等	施工体制台帳及び施工体系図の作成については、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従ってこれを行うとともに、監督職員に提出する。(1.1.5)
	③ 疑義に対する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によるのが困難又は不都合な場合、並びに設計図書に記載されていない見え隠れ部分に不都合が認められた場合は、監督職員と協議する。(1.1.8)
	④ 工事関係図書	<p>工事の着手に先立ち以下のもを作成し、監督職員の承諾を受ける。(1.2.1~1.2.3)</p> <p>1) 実施工程表 2) 施工計画書 3) 施工図等</p> <p>工事の記録は監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について記録を整備する。(1.2.4)</p>
	⑤ 工事現場管理	<p>設計図書に適合する工事的目的物を完成させるために、施工管理体制を確立し品質、工程、安全等の施工管理を行う。(1.3.1)</p> <p>・ 施工管理技術者 適用する (1.3.2)</p> <p>・ 電気保安技術者 適用する (1.3.3)</p>
	⑥ 施工条件	<p>関連工事による施工時期の調整 (1.1.7)</p> <p>有 (内容: 工事事両進入経路及び作業ヤード等について、別途発注予定の運動場整備工事(令和元年8月着工予定)受注関係者及び監督員と協議を行うこと)</p> <p>・ 無</p> <p>施工時期・時間の制限 (1.3.5)</p> <p>・ 指定しない ○ 指定あり(内容: 屋外排水管工事について、給食配達車搬入時間帯との調整を行うこと)</p> <p>部別別施工順序 ○ 指定しない 指定あり</p> <p>工事車両の駐車場 ○ 有 ・ 無</p> <p>資機材置場所 ○ 有 ・ 無</p> <p>関係機関との協議結果、特定条件の付加</p> <p>有 (内容: 外部足場設置までに J R 西日本伊賀上野分所へ外部足場の設置計画図を提出すること。)</p> <p>・ 無</p>

⑦ 発生材の処理等	<ul style="list-style-type: none"> 引き渡しを要するもの () (1.3.8) 特別管理産業廃棄物 有() 処理方法() 現場において再利用を図るもの() 再生資材の利用を図るもの アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。 <p>引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。</p> <p>(マニフェストE票の写しを提出すること。)</p>														
⑧ 建築材料等	<p>本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(最新版)(以下「評価名簿」という)及び別記記載の資材及び見積りメーカー(参考)又はこれらと同等とする。</p> <p>品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。</p> <p>また、建設工事で得られた再生資源の活用はもろろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。</p> <p>合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板層積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、27樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びシアンを発生しないか、発散の少ないものとする。接着剤は、7酸ジ-n-ブチル及び7酸ジ-n-イソオクチルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、ホルムアルゲン、シアン、イソシアネートを発生しないか、発散が少ないものとする。塗料は、ホルムアルデヒド、ホルムアルゲン、シアン、イソシアネートを発生しないか、発散が少ないものとする。これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が少ないものとする。</p>														
⑨ 施工中の安全管理	<p>接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。</p>														
10 施工数量調査	<p>調査範囲 図示 (1.5.2)</p> <p>調査方法 図示 (1.5.2)</p>														
11 調査のための破壊部分の補修	<p>補修方法 図示 (1.5.3)</p>														
⑫ 技能士	<p>職種別に可能なものについては積極的に活用すること。(1.6.2)</p>														
⑬ 化学物質の濃度測定	<p>測定する ○ 測定しない (1.6.6)</p> <p>測定対象化学物質(で示したものとする。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>スチレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> <th>その他 ()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定対象室及び測定箇所数: 測定方法(バッシブ法 ・ アクティブ法)</p> <p>報告書 2部</p>	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	スチレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	その他 ()							
ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	スチレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	その他 ()									
14 特別な材料の工法	<p>公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p>														
⑮ 騒音・振動の防止	<p>低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。</p>														
⑯ 排出ガス対策建設機械の使用	<p>排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。</p>														
⑰ 工事写真	<p>着工時 - 敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。(E版1部)</p> <p>工事中 - 進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠ぺい又は埋設された部分は被写体に巾広テープを添えて撮影する。(E版1部)</p>														
⑱ 完成図	<p>作成する (完成図 ・ 保全に関する資料) (1.8.2)</p> <p>完成図作図範囲 (すべての図面)</p> <p>完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p> <p>CADによる作成 (要 ・ 不要) ただし、作成できない場合は監督員との協議による。</p> <p>CADデータの提出 (要 ・ 不要) ただし、提出できない場合は監督員との協議による。</p>														

⑲ 完成写真	<p>台紙貼り1部(か-サ-ビス版)</p> <p>7A A 1部(大きさ335mm×290mm程度、か-サ-ビス版)</p> <p>箇所数は外観4面各室2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。</p>	
⑳ 設備工事との取合い	<p>施工範囲</p> <p>図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強</p> <p>図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強</p> <p>自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強</p> <p>駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図</p> <p>設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。</p>	
㉑ 養生その他	<p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共に在来にならぬ補修する。</p>	
㉒ 事故報告	<p>工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。</p>	
2 仮設工事	① 外部足場	<p>外部足場の種別 A種 ・ B種 ○ C種 (2.2.1)(表2.2.1)</p> <p>外部足場の保護シート等による養生 適用する ・ 適用しない (2.2.1)</p>
	2 材料、撤去	<p>種別 ・ A種 B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (表2.2.2)</p>
	3 既存アライドカー等の養生	<p>養生方法 塗替え改修部は、カーテュ脱着(レール共)とする。(2.3.1)</p> <p>保管場所 構内既存施設内</p>
	4 仮設間仕切り	<p>・ A種 ・ B種 C種 (2.3.2)(表2.3.1)</p> <p>合板又は石膏ボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない</p>
	5 監督員事務所	<p>・ 構内建物内の一部を使用する。(2.4.1)</p> <p>・ 設置する</p> <p>監督職員事務所の規模(単位:㎡)</p> <p>面積 ・ 15㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 35㎡程度 ・ 65㎡程度 ・ 100㎡程度</p> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <p>部位等 仕上げ</p> <p>床 合板張り又はビニル床シート張り</p> <p>内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂7A A' 3塗り</p> <p>屋根 装飾融垂れめっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント張り</p> <p>設けない</p>
	6 監督員事務所 の備品等	<p>・ 机椅子 ・ 書棚黒板 ・ 製図板 ・ 掛け時計 ・ 温度計 (2.4.1)(b)</p> <p>・ ゴム長靴 ・ 雨カッパ ・ 保護帽 ・ 懐中電灯</p> <p>・ 加入電話の付属電話機(請負者が本電話機を設置する場合)</p> <p>・ 衣類ロッカー ・ 冷暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 掃除具</p>
	7 危険物貯蔵所	<p>塗料、油類等の引火性材料の貯蔵所は関係法令等に従い適切な規模、構造、設備を備えたものとする。尚、やむを得ず工事的目的物の一部を置場として使用する場合には監督職員の承諾を受ける。(2.4.2)</p>
⑧ 請負者事務所	<p>○ 設置する</p> <p>請負者事務所の規模(単位:㎡)</p> <p>15 ㎡程度 (2.4.3)</p>	
9 材料倉庫	<p>㎡程度</p>	
⑩ 交通誘導員	<p>○ 配置する (50日 × 1人 = 50人) ・ 配置しない</p> <p>平日、土曜の学童就学日、午前8時~午後17時に、西側正門付近に配置</p>	
⑪ 仮設便所	<p>○ 汲取り式: 小便器、大便器 × 各1棟程度</p>	
⑫ 工事用水	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) 利用できない</p>	
⑬ 工事用電力	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) 利用できない</p>	
⑭ その他	<p>軒天、玄関、倉庫、更衣室、トイレ等のアスベストボードは、非飛散性アスベスト含有とし、手壊しとする。</p> <p>アスベスト含有成型板等の撤去は「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」を厳守すること。</p>	

3 防 水 改 修 工 事	1 7A A'防水	(3.2.2)(表3.3.1~表3.4.2)			
		工 法	種 別	施 工 箇 所	
		・ P 1 B	・ B - 1 ・ B - 2		
		・ P 1 B I	・ B I - 1 ・ B I - 2		
		・ P 2 A	・ A - 1 ・ A - 2		
		・ P 2 A I	・ A I - 1 ・ A I - 2		
・ P O D	・ D - 1 ・ D - 2				
・ T 1 B I	・ B I - 1 ・ B I - 2				
・ P O D I	・ D I - 1 ・ D I - 2				
・ M 3 D I					
・ M 4 D I					
・ M 3 D	・ D - 1 ・ D - 2				
・ M 4 C	・ C - 1 ・ C - 2				
・ P 1 E	・ E - 1 ・ E - 2				
・ P 2 E					
・ M 4 A S	・ A S - 1 ・ A S - 2 ・ A S - 3 ・ 屋上				
・ M 3 A S	・ A S - 4 ・ A S - 5 ・ A S - 6				
・ P O A S					
	・ A S I - 1 ・ A S I - 2				
2 保護層等	断熱層工法の断熱材 (P 1 B I、P 2 A I及びT 1 B I工法) (3.3.2)(h)	材 質 ・ 発泡プラスチック保温材 (J I S A 9 5 1 1)			
		厚 さ (mm) ・ 2 5 (両面スキン層付き、特定フロンを含まないもの)			
		施工標準 ・ 設ける ・ 設けない			
	脱気装置 (P O D及びM 3 D)	(3.3.3)(b)(2)			
	・ 設ける ・ 設けない				
3 合成高分子系 R-フックシート防水	伸縮目地 ・ アスファルト注入目地 (3.3.5)(f)	・ 既存目地 寸法 (mm) 2.5 × 7.0			
		製造所(製品名)			
		工 法	種 別	施 工 箇 所	
		・ P O S	・ S-F1(S1-F1) ・ S-F2(S1-F2)		
		・ P O S I	・ S-M1(S1-M1) ・ S-M2(S1-M2)		
		・ S 4 S	・ S-M3(S1-M3)		
		・ S 4 S I			
		・ S 3 S	・ S-F1(S1-F1) ・ S-F2(S1-F2)		
		・ S 3 S I			
		・ M 4 S	・ S-M1(S1-M1) ・ S-M2(S1-M2)		
		・ M 4 S I	・ S-M3(S1-M3)		
		脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない			
④ 塗膜防水	工 法			種 別	施 工 箇 所
	・ M 4 X 超速硬化ウレタン塗膜防水 平場・通気緩衝工法 平場・端部・立上り・密着工法		・ X - 1	・ X - 2	・ 屋上、下屋屋根
	脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない				
5 既存塗膜防水層 表面の仕上げ塗装	(L 4 X) ・ 行う ・ 行わない (3.2.6)(c)(6)				
	部材の種類 (3.9.2)(c)(表3.9.1)				
⑥ 7A A'改修木	○ 押出 2 0 0 形 ・ 押出 2 5 0 形 ・ 押出 3 0 0 形 ・ 押出 3 5 0 形				
	・ 板材折曲げ型				
	(本体幅 mm、板厚 2 . 0 mm ・ mm、固定間隔 mm)				
	表面処理 A - 1又はB - 1 (3.9.2)(d)				
⑦ シーリング用材料	工 法			材 種	施 工 箇 所
	・ S R - 1 シコソソ系				
	○ S R - 2 シコソソ系		ガラス廻り		
	○ M S - 2 変成シコソソ系		A L C 目地、サッシ廻り、ボード取合部		
	・ P S - 2 びりカイクイ系				
	・ P U - 2 びりカイクイ系				
	・ A C - 1 アクリル系				
	シーリング材の試験 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (3.7.8)				
			○ 行わない		

PROJECT			PROJECT NO.	
新居小学校屋内運動場大規模改修工事				
DRAWING			SCALE	
特記仕様書				
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			'19.03.	
			DRAWING NO.	
			A - 1(37)	

4 外 壁 改 修 工 事	⑧ シーリング 改修 工法の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリング充てん工法 (3.7.4) ○シーリング再充てん工法 (3.7.5) ・拡幅シーリング再充てん工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm) (3.7.6) ・ブリッジ工法 (3.7.7) 																																	
	1 施工数量	<ul style="list-style-type: none"> ○行う ・行わない ・調査範囲 全面 ○外壁 (吹付塗装部分) ・調査項目 ひび割れ部 (幅0.2mm、0.2mm-1.0 mm、1.0mm以上) はがれ及びはく落部分 浮き部 ・調査方法 目視及びミリスケール等 足場 ・枠組 ・ゴンドラ ・報告書 3部監督員に提出 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 調査業者 材料メーカーの指定する施工業者とする 																																	
	⑨ 改修工法の種類	(4.1.4)																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>外 壁</th> <th>種 類</th> <th>改 修 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・コンクリ打放し 仕上げ 軒裏</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部 庇</td> <td>充てん工法 ・コンクリ打放し面改修工法 (コテ-吉田若返り5分程度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外壁塗り 仕上げ 外壁</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部</td> <td>充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・浮き部</td> <td>・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法</td> <td>・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法</td> <td>・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法</td> <td>・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・タイル貼り 仕上げ外壁</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部</td> <td>充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・浮き部</td> <td>・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法</td> <td>・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法</td> <td>・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'球'樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○塗り仕上げ</td> <td>・吹付部</td> <td>○薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ○複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り</td> </tr> </tbody> </table>	外 壁	種 類	改 修 工 法	・コンクリ打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部 庇	充てん工法 ・コンクリ打放し面改修工法 (コテ-吉田若返り5分程度)	・外壁塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部	充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・浮き部	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法	・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・タイル貼り 仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部	充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・浮き部	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'球'樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法	○塗り仕上げ	・吹付部	○薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ○複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り
外 壁	種 類	改 修 工 法																																	
・コンクリ打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																																	
	・欠損部 庇	充てん工法 ・コンクリ打放し面改修工法 (コテ-吉田若返り5分程度)																																	
・外壁塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																																	
	・欠損部	充てん工法 ・モルタル塗替え工法																																	
・浮き部	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法																																	
	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法																																	
	・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法	・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法																																	
・タイル貼り 仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																																	
	・欠損部	充てん工法 ・モルタル塗替え工法																																	
・浮き部	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法																																	
	・アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法	・アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 ・注入口付アカビ'ン'グ'球'樹脂注入タイル固定工法 ・タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法																																	
○塗り仕上げ	・吹付部	○薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ○複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り																																	
	3 改修工法等	<p>樹脂注入工法 (4.3.4)(4.4.5)(4.5.5)</p> <p>種類 ・自動式低圧球'樹脂注入 注入量 () 注入孔間隔 () ・手動式球'樹脂注入 注入量 () 注入孔間隔 () ・機械式球'樹脂注入 注入量 () 注入孔間隔 ()</p> <p>検査 ・行う ・行わない</p> <p>Uカットシーリング材充てん工法 (4.3.5)</p> <p>種類 ・シーリング用材充てん (・PU-2) ○可とう性エポキシ樹脂充てん平滑仕上 (巾10mm*深さ10mm以上) (日本樹脂施工協同組合、コニシ程度)</p> <p>シーリング用材のうえにポリマーセメントモルタル充てん ・行う ・行わない</p>																																	

シーリング工法 (4.3.6)(4.4.7)	種類 ・パテ状エポキシ樹脂シーリング ・可とう性エポキシ樹脂シーリング																				
充てん工法 (4.3.7)(4.4.8)	種類 ・エポキシ樹脂モルタル充てん (日本樹脂施工協同組合程度) ・ポリマーセメントモルタル充てん																				
モルタル塗替え工法 (4.4.9)	アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 (4.4.10)(図4.4.1)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 (4.4.11)(図4.4.2)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 (4.4.12)(図4.4.2)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td>範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)</td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td>範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)</td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td>長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200) (コンクリートCPPAカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法程度)</td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分	範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)	指定部分	範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)	狭幅部	長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200) (コンクリートCPPAカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法程度)												
施 工 箇 所																					
一般部分	範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)																				
指定部分	範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)																				
狭幅部	長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200) (コンクリートCPPAカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法程度)																				
注入口付アカビ'ン'グ'部分'球'樹脂注入工法 (4.4.13)(図4.4.3)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td>範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)</td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td>範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)</td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td>長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200)</td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分	範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)	指定部分	範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)	狭幅部	長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200)												
施 工 箇 所																					
一般部分	範囲1.0m2以下の場合 (@330*330)																				
指定部分	範囲1.0m2以下の場合 (@250*250)																				
狭幅部	長さ1.0m、巾0.2mの場合 (@200)																				
注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'樹脂注入工法 (4.4.14)(図4.4.4)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分															
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
注入口付アカビ'ン'グ'全面'球'ウレタン系樹脂注入工法 (4.4.15)(図4.4.4)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分															
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
タイル部分貼替え工法 (4.5.7)	種類 ・ポリマーセメントモルタルによる貼替え ・球'樹脂による貼替え																				
	貼付用モルタル及び目地材の既成調合材料 ・使用する ・使用しない																				
タイル貼替え工法 (4.5.8)	種類 (表4.5.3)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイル寸法</th> <th>工 法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装タイル</td> <td rowspan="2">・小口タイル以上二丁掛け以下</td> <td>・密着貼り</td> <td>5-8</td> </tr> <tr> <td>・改良種上げ貼り</td> <td>4-7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下</td> <td>・改良圧着貼り</td> <td>下地側 4-6 タイル側 3-4</td> </tr> <tr> <td>・マスク貼り</td> <td>3-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・磁'イタ'貼り</td> <td>3-5</td> </tr> </tbody> </table>	タイルの種類	タイル寸法	工 法	塗り厚(mm)	・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛け以下	・密着貼り	5-8	・改良種上げ貼り	4-7	・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良圧着貼り	下地側 4-6 タイル側 3-4	・マスク貼り	3-4			・磁'イタ'貼り	3-5
タイルの種類	タイル寸法	工 法	塗り厚(mm)																		
・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛け以下	・密着貼り	5-8																		
		・改良種上げ貼り	4-7																		
・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良圧着貼り	下地側 4-6 タイル側 3-4																		
		・マスク貼り	3-4																		
		・磁'イタ'貼り	3-5																		

4 目地改修工法	目地ひび割れ改修工法 (4.5.16(a))	伸縮目地改修工法 (4.5.16(b))																																
	目地 伸縮目地 (位置 寸法 ×) 検査 シーリング接着性試験 ・行う (・簡易接着性試験) ・行わない																																	
	材料 (4.2.2)(a) エポキシ樹脂 J I S A 6 0 2 4 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 仮止めシーリング材等はエポキシ樹脂製造所の指定する製品で既存及び新規塗膜に支障のないもの																																	
	可とう性エポキシ樹脂 パテ状エポキシ樹脂 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントスラリー タイル貼替用エポキシ樹脂 磁器質タイル せつ器質タイル 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 F ・ F (4.2.2(j))(表4.2.4(その1)(その2))																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上形状</th> <th>工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○薄付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>○外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状 ○ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>○吹付け ・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・可とう形 外装厚塗材 C</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>・防水形 外装厚塗材 E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>・ローラー ・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・外装厚塗材 C E</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし</td> <td>・吹付け ・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し</td> <td>・吹付け ・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 CE ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 RE</td> <td>・凸部処理 ○凹凸模様</td> <td>・吹付け</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	呼び名	仕上形状	工 法	○薄付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	○外装薄塗材 Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	○外装薄塗材 E	・砂壁状 ○ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	○吹付け ・こて ・ローラー	・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・可とう形 外装厚塗材 C	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて ・ローラー	・防水形 外装厚塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー ・吹付け	○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材 C E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	・吹付け ・こて ・ローラー	・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・吹付け ・こて ・ローラー	○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー	・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 CE ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 RE	・凸部処理 ○凹凸模様	・吹付け
種 類	呼び名	仕上形状	工 法																															
○薄付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	○外装薄塗材 Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー																															
	○外装薄塗材 E	・砂壁状 ○ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	○吹付け ・こて ・ローラー																															
・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・可とう形 外装厚塗材 C	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて ・ローラー																															
	・防水形 外装厚塗材 E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー ・吹付け																															
○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材 C E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	・吹付け ・こて ・ローラー																															
	・外装厚塗材 S i ・外装厚塗材 E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・吹付け ・こて ・ローラー																															
○複層仕上げ塗材 J I S A 6909 (建築用仕上げ塗材)	・複層塗材 C E	・ゆず肌状	ローラー																															
	・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 CE ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 RE	・凸部処理 ○凹凸模様	・吹付け																															

5 建 具 改 修 工 事	① 改修工法	○かぶせ工法 (○カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法) (5.1.3) ・撤去工法 (はつり工法 ・ 引抜き工法)																													
	2 見本の製作	・製作する ・ 製作しない (5.1.5)																													
	③ ブラインド カーテンボックス等	○再使用する (図示による 一部、撤去) 再使用しない (5.1.6(c))																													
	④ アルミニウム 製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (5.2.2)(表5.2.1)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>枠の見込み寸法 70mm</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>枠の見込み寸法 100mm</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	備 考	○A種	S-4	A-3	W-4	枠の見込み寸法 70mm	・B種	S-5				・C種	S-6	A-4	W-5	枠の見込み寸法 100mm									
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	備 考																											
○A種	S-4	A-3	W-4	枠の見込み寸法 70mm																											
・B種	S-5																														
・C種	S-6	A-4	W-5	枠の見込み寸法 100mm																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>遮音性</th> <th>種 類</th> <th>断熱性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防音ドアセット</td> <td></td> <td>・断熱ドアセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防音サッシ</td> <td></td> <td>・断熱サッシ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	遮音性	種 類	断熱性	・防音ドアセット		・断熱ドアセット		・防音サッシ		・断熱サッシ																		
種 類	遮音性	種 類	断熱性																												
・防音ドアセット		・断熱ドアセット																													
・防音サッシ		・断熱サッシ																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>面内変形追従性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・耐震ドアセット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	面内変形追従性	・耐震ドアセット																										
種 類	面内変形追従性																														
・耐震ドアセット																															
		アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 (表5.2.2)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>表 面 処 理</th> <th>規格番号</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td>無着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H8601</td> <td rowspan="2">A A 1 5</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td>着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H8602</td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td>無着色陽極酸化塗装複合皮膜</td> <td>JIS H8601</td> <td rowspan="2">B</td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td>着色陽極酸化塗装複合皮膜</td> <td>JIS H8602</td> </tr> <tr> <td>・C-1</td> <td>無着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H8601</td> <td rowspan="2">A A 6</td> </tr> <tr> <td>・C-2</td> <td>着色陽極酸化皮膜</td> <td>JIS H4001</td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>化成皮膜の上に塗装</td> <td>JIS H4001</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	表 面 処 理	規格番号	種 類	・A-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	A A 1 5	・A-2	着色陽極酸化皮膜	JIS H8602	・B-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8601	B	・B-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	・C-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	A A 6	・C-2	着色陽極酸化皮膜	JIS H4001	・D	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001	
種 別	表 面 処 理	規格番号	種 類																												
・A-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	A A 1 5																												
・A-2	着色陽極酸化皮膜	JIS H8602																													
・B-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8601	B																												
・B-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602																													
・C-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	A A 6																												
・C-2	着色陽極酸化皮膜	JIS H4001																													
・D	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001																													
	⑤ 網戸	防虫網の材質 (5.2.3(e)) ○合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ○16メッシュ ・ 18メッシュ																													
	⑥ 網製建具	網製建具の性能等級 (5.3.2)(表5.3.1)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>気 密 性</th> <th>水 密 製</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウムサッシ(カバー工法)</td> <td>A-3</td> <td>W-5</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	気 密 性	水 密 製	・アルミニウムサッシ(カバー工法)	A-3	W-5																							
種 類	気 密 性	水 密 製																													
・アルミニウムサッシ(カバー工法)	A-3	W-5																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>遮音性</th> <th>種 類</th> <th>断熱性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	遮音性	種 類	断熱性																									
種 類	遮音性	種 類	断熱性																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>面内変形追従性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	面内変形追従性																											
種 類	面内変形追従性																														

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事				PROJECT NO.	
DRAWING 特記仕様書				SCALE	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	'19.03.	
				DRAWING NO. A-2	

⑦ 鋼製軽量建具	鋼製軽量建具の性能等級 建具表による (5.4.2)
	種 類 気 密 性
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
8 ステンレス製建具	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
⑨ 建具用金物	種 類 遮音性 種 類 断熱性
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
10 自動ドア 開閉装置	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
11 重量シャッター	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
12 軽量シャッター	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
13 オーバーヘッドドア	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性
⑭ ガラス	ステンレス製建具の性能等級 (5.5.2)
	種 類 気 密 性 水 密 製
	種 類 遮音性 種 類 断熱性

⑮ ガラスとめ材	ガラスとめ材 (5.12.2(b))
	建具の種類 種 類
	アルミニウム製 ・ガスケット グレージングチャンネル形 (枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合) ・シーリング材
6 内装改修工事	鋼製 ○シーリング材 ・ガスケット
	ステンレス製 ・シーリング材
	板ガラスをはめ込む溝の大きさ 表5.12.1による (枠見込み70mmのアルミニウム製建具の場合(強化、合わせ、倍強度ガラスを用いる場合を除く))
① 一般事項	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 (6.1.3(b))
	改修部分 改 修 範 囲
	○天井 図示による ○壁 図示による ○床 図示による
② 既存床撤去、 下地補修	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (6.1.3(c)) (図示による)
	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3(f)) ・行う (図示による) ・行わない
	既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(a)(1)) 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 行う ○行わない
③ 既存壁撤去、 下地補修	合成樹脂塗リ床材の除去等 (6.2.2(a)(2)) ・機械的除去工法 ○目荒工法
	改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c)) 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ()
	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (6.3.2) (図示による)
④ 木下地等	表面仕上げ ・A種 B種 ・C種 (6.5.1(c))(表6.5.1)
	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) (6.5.2(a)(1))(表6.5.2)
	部材、下地材 種 別
構造材、下地材	A種 ・B種
	造作材 A種 ・B種
	構造材及び下地材の等級 (6.5.2(a)(2)())
造作材の等級 (6.5.2(a)(2)())(表6.5.3)	部材名称 等 級 部材名称 等 級 部材名称 等 級
	開縁 小部
造作用集材	使用箇所 部 材 名 称 等 級
	生地のまま 又は 透明塗料塗りの場合 不透透明塗料塗りの場合
	A種 (ただし、見掛かり面) ・B種 A種 ・B種 A種 ・B種
代用樹種の使用 ・禁止する ○禁止しない (6.5.2(a)(3))	集成材 (6.5.2(b)(c))
	ホルムアルデヒドの放散量 F ・F
	構造用集成材
造作用集材	部材名称 品 名 強度等級 材面の品質 樹種名 接着性能
化粧ばり造作用集材	表面仕上材の化粧単板の樹種 () 厚さ ()
	ホルムアルデヒドの放散量 F ・F
	床張り用合板 厚さ5.5mm合板の接着程度 ()
防湿処理 ・施工する () ・施工しない	防湿処理 ・施工する ・施工しない

⑥ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーなどの種類 (6.7.3)(表6.7.1)
	・45形 ○65形 ○90形 ・100形
⑥ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)
	部 材 種 類 備 考
	○シングル野縁 ○19形 ・25形 ○屋外25形 ・ダブル野縁 ・19形 ・25形 ・野縁受け ・19形 ・25形
既存埋込みインサート (6.6.4(a)(1))	・使用する (引張試験) 使用しない
	材料 (6.8.2)
	○ビニル床シート 【JIS A5705 (ビニル系床材)】 (6.8.2(a))
○防滑性ビニル床シート	種類の記号 機能・場所 厚 さ 備 考
	F S ホール、通路、各トイレ 2.5
・ビニル床タイル 【JIS A5705 (ビニル系床材)】 (6.8.2(b))	種 類 厚 さ 備 考
・帯電防止床シート (6.8.2(c)(1))	種 類 性 能 厚 さ 備 考
・帯電防止床タイル (6.8.2(c)(1))	種 類 性 能 厚 さ 備 考
・視覚障害者用床タイル (6.8.2(c)(2))	種 類 形 状 備 考
○その他 (6.8.2(c)(3))	種 類 性 能 厚 さ 備 考
	発泡複層ビニル床シート クラスファイバークロス層入りウレタンコーティング
	緩衝作用(U) 15~50 重力加速度(G) 100以下 滑り抵抗係数 0.4以上
・ビニル幅木 (6.8.2(d))	厚 さ 高 さ 備 考
・ゴム床タイル (6.8.2(e))	色 柄 厚 さ 備 考
工法	下地 (6.8.3(a))
	・モルタル下地 ・木下地 ○その他 (土間コン下地) ビニル床シート張り (6.8.3(b))
	熱溶接工法 ○適用する ・適用しない

⑥ 合成樹脂塗リ床	ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ○F ・F 弾性ウレタン塗リ床の仕上げ種類、行程 (6.10.2(b))(表6.10.3) 平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ エポキシ樹脂塗リ床の仕上げ種類 (6.10.3(c))(表6.10.4~6.10.7) ○厚膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂塗リ仕上げ ・防汚仕上げ
	ホルムアルデヒドの放散量 F ・F ・モルタル埋込み工法 (6.11.4)(表6.11.1) フローリングブロック(単位:mm)
	樹 種 厚 さ 大きさ 備 考
9 加-ワグ張り	なら 15 303x303 辺材部分には、防虫処理を行う。
	・釘留め工法 (6.11.5)(表6.11.2)(表6.11.3)
	材 料 種 別 種 別 樹 種
10 畳敷き	・フローリングボード (根太張用) 洋材
	・複合フローリング (根太張用) ・1種 ・A種
	・無垢フローリング (根太張用) ・2種 ・B種
塗装 (6.11.7(b))	・接着工法 (6.11.6)(表6.11.1)(表6.11.2)(表6.11.4)
	材 種 樹 種 厚 さ 大きさ
	・モザイクパーケット (直張用) ・ ・
⑥ 畳敷き	塗装 (6.11.7(b))
	・ウレタン樹脂ワニス塗リ (1液形、B種) 水性ウレタンクリヤ・ (床用)塗のうえワックス塗リ (0.2kg/㎡水性A-14程度) ・生地のままワックス塗リ
	種別 A種 ・B種 ・C種 ・D種 (6.12.2)(表6.12.1)

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 特記仕様書			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-3

11 カーベット
敷き 織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)
種別 バイル形状 帯電性 品質の程度
タフテッドカーベット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)
バイル形状・カット バイル長さ(mm) 帯電性 工法 品質の程度
ニードルパンチカーベット (6.9.2)(d)(2)
厚さ(mm) 帯電性 備考
タイルカーベット (6.9.2)(表6.9.2)
バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 電気抵抗(Ω) 品質の程度
敷き方 (6.9.3)(d)(2)
平場 市松敷き 模様流し
階段部分 市松敷き 模様流し
(6.13.2)(表6.13.1)
名称 種類 規格、区分等 厚さ(mm)
せつこうボード(GB-R)
シーリングせつこうボード(GB-S)
強化せつこうボード(GB-F)
せつこうボード(GB-L)
不燃積層せつこうボード(GB-NC)
化粧せつこうボード(GB-D)
吸音材
繊維強化セメント
特殊合板
合板
難燃合板
パーティクルボード
合板類、 MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの発散量
遮音シール材
ホルムアルデヒドの発散量
(6.14.2)
施工箇所 品質の程度 防火種別
既成目地材
使用する(形状)

15 タイル貼
伸縮調整目地
位置・図示
タイルの種類 (6.16.3)
施工箇所 形状・寸法(mm) きじ 凹凸種 陶器 磁種 無釉 あり なし 標準 特注 品質の程度
断熱材
ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量
断熱材打込み工法 (9.5.2)
種類 種類 厚さ(mm) 施工箇所
接着剤
断熱材現場発泡工法 (9.5.3)
難燃性 厚さ(mm) 施工箇所
7 塗装改修工事
① 材料
建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
② 下地調整
種別 (7.2.2-7.2.7)(表7.2.1-7.2.7)
下地 種別
③ 錆止め塗料塗り
塗料種別 (7.3.2)(表7.3.1)
鉄鋼面錆止め塗料
錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3-7.3.4)
鉄鋼面
亜鉛めっき面
④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
塗料種別 1種
種別 (7.4.3-7.4.5)(表7.4.1-7.4.3)
下地 種別
⑤ フタル酸樹脂
種別 (7.5.2-7.5.3)(表7.5.1-7.5.2)
下地 種別
鉄鋼面及び亜鉛めっき面

6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料
種別 A種 B種 (7.6.2)(表7.6.1)
7 アクリル樹脂 エナメル塗り (A E)
種別 A種 B種 C種 (7.7.2)(表7.7.1)
(7.7.3)(表7.7.1)
8 2液形樹脂塗料 エナメル塗り (2-U E)
種別 (7.8.2-7.8.4)(表7.8.1-7.8.3)
鉄鋼面 A種 B種
亜鉛めっき面 A種 B種
コンクリート及び押出成形材の板面 A種 B種
9 アクリル樹脂 エナメル塗り (2-A S E)
種別 (7.9.2-7.9.4)(表7.9.1-7.9.3)
鉄鋼面 A種 B種
亜鉛めっき面 A種 B種
コンクリート及び押出成形材の板面 A種 B種
10 常温乾燥形 ふっ素樹脂 エナメル塗り (2-F U E)
種別 (7.10.2-7.10.4)(表7.10.1-7.10.3)
鉄鋼面 A種 B種
亜鉛めっき面 A種 B種
コンクリート及び押出成形材の板面 A種 B種
11 つや有合成樹脂 樹脂コンクリート塗り (E P-G)
種別 A種 B種 C種 (7.11.2)(表7.11.1)
しみ止め 下塗りに先立ち水性シリカ処理を行う(屋内鉄部程度 木部程度)
12 合成樹脂コンクリートペイント塗り (E P)
種別 A種 B種 C種 (7.12.2)(表7.12.1)
しみ止め 下塗りに先立ち水性シリカ処理を行う(屋内RC、モルタル、ボンド面等程度)
13 多彩模様 塗り塗り (E P-M)
種別 (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)
塗り塗り 鉄鋼面及び亜鉛めっき面 A種 B種
14 合成樹脂 樹脂模様塗り (E P-T)
種別 A種 B種 C種 1種 C種 2種 C種 3種 (7.14.2)(表7.14.1)
15 ウレタン樹脂 ワニス塗り (U C)
種別 (7.15.2)(表7.15.1)
木部 A種 B種
既設床面ウグ掛けのうえ、3回塗り
無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内床程度)
16 ウレタン樹脂 ワニス塗り (C L)
種別 (7.16.2)(表7.16.1)
木部 A種 B種
17 水性ウレタン塗り (O S)
種別 (7.17.2)(表7.17.1)
木部
18 屋内水系塗料
種別(既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合) (7.18.2)
木部 A種 B種 C種 (表7.18.1)
鉄鋼面 A種 B種 C種 (表7.18.2)
その他 RC、モルタル、石膏ボンド面下地等の塗替え及び新規(11部 12部 14部)を適用とする
19 水性ウレタン塗り (S U C)
種別
木部 汚れ・付着物除去のうえ、水性ウレタン1回、水性ウレタン3回塗り
顔料系木部着色材(屋内外程度)
無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内外程度)
20 打返し保護材
塗布 2回(程度)

8 雑工事
① 室名札
ステンレス製・平付型・W300×H70×D10
5カ所...ホール、倉庫、倉庫、体育用具庫、放送室
スコッチカルシート貼
新協和SK-605NS-2F程度
② ビクトサイン
ステンレス製・平付型・W200×H200×D10
5カ所...男子便所(S-1)、女子便所(S-2)×2、多目的便所(T-2)×2
()内は、ビクト図形番号を示す
スコッチカルシート貼
新協和SK-605SS-2F程度
③ 遮光カーテン
15倍ヒダ 遮光1級 防炎品
タッセル2本・リターンベルクロ幅メ
④ 紙帳
水引幕・校章 450本刺繍、ヒダなし裏地付、フレンジ4寸
袖幕:ヒダなし裏地付、フレンジ6寸
引幕(前):2倍ヒダ
引幕(後):2倍ヒダ
生地は、バルコ程度
⑤ 後付けアルミ庇
L2000×D200 外部アンカー止式
アルフィン AF-92程度
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事
PROJECT NO.
DRAWING 特記仕様書
SCALE
APPROVED CHECKED DRAWN DATE '19.03.
DRAWING NO. A-4

13 壁紙張り
(6.15.3)
既成目地材
使用する(形状)

せつこうボード、その他ボード及び合板張り

種別塗り

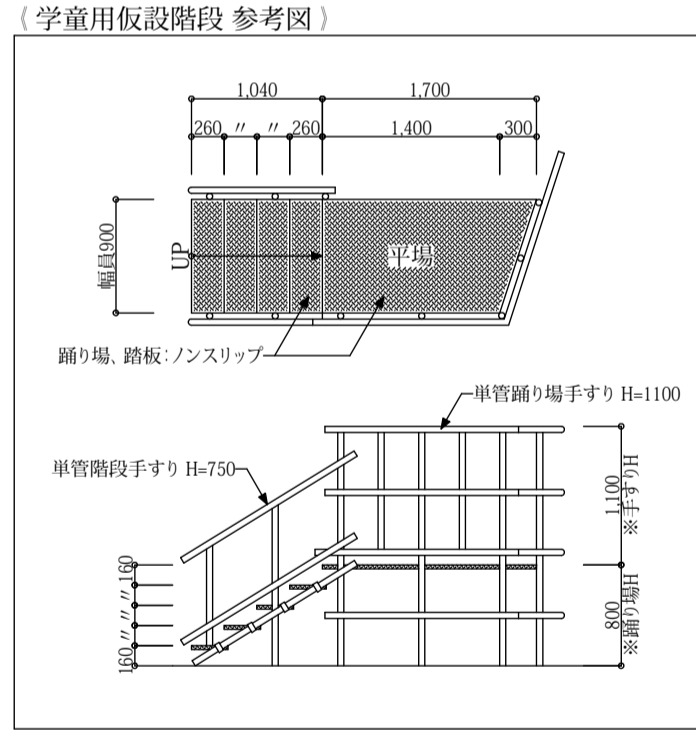
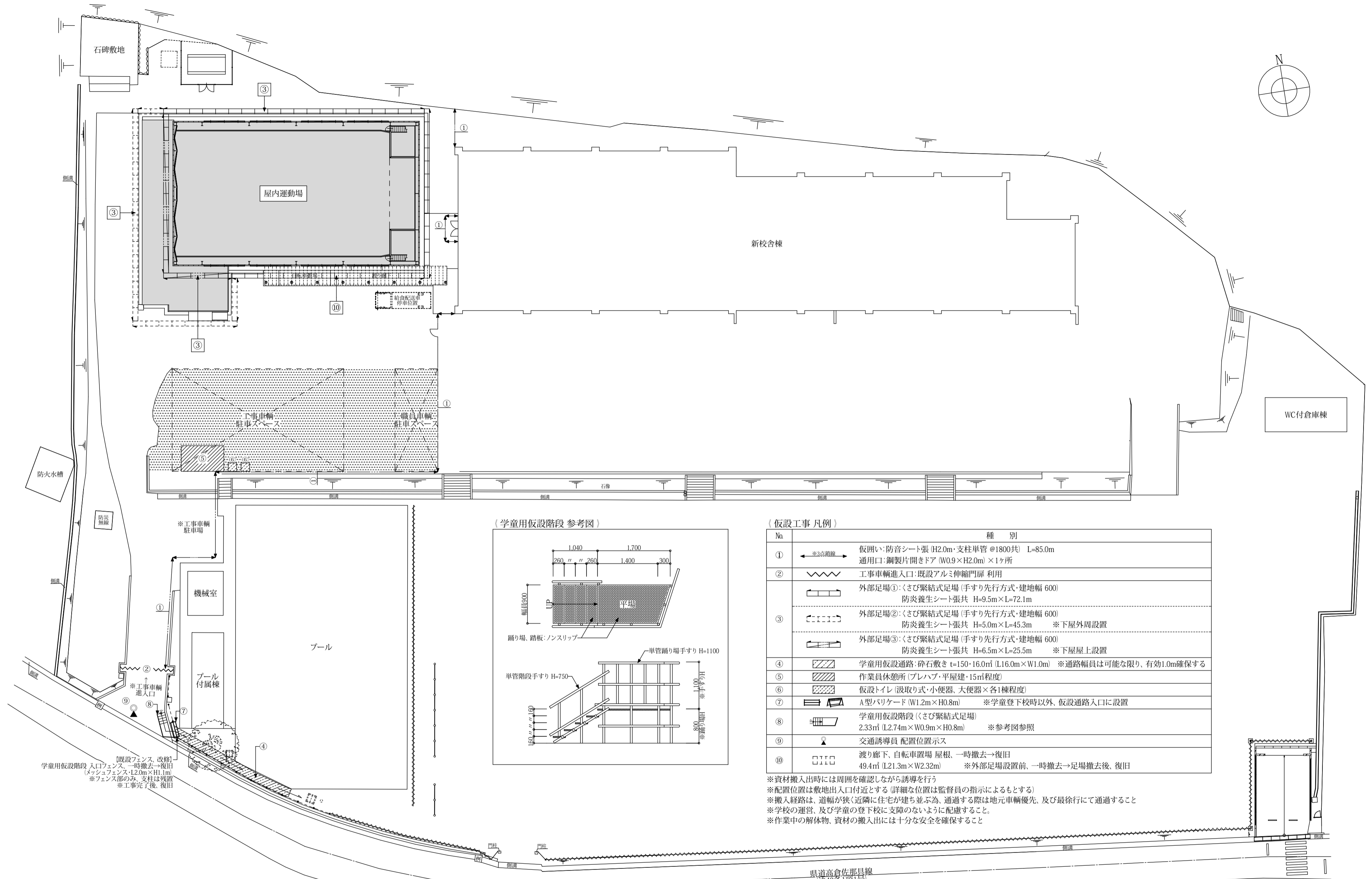
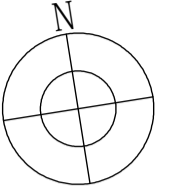
外部仕上表

外壁	改修	前	ALCの上 ラフтон吹付、水洗い(高圧ポンプ)にて撤去 目地シーリング、撤去	開口部	改修	前	スチールサッシ、スチールドア、撤去		
		後	複層塗材E吹付、目地シーリング(変成シリコン・10×10)、新設 ALCひび割れ補修:Uカットシーリング工法(可とう性エポキシ樹脂充填工法)			後	アルミサッシ(改修用サッシ)、新設 ドア撤去部:鉄骨下地 押出成形セメント板 t=26 縦張 複層塗材E吹付、新設		
屋根 (下屋、屋上)	改修	前	ALC t=100下地 カラー砂付防水(アスファルト防水密着工法・下地:ギルボード t=15、アスタイト 1.2kg等)、一部撤去	ポーチ	改修	前	土間コン金コテ押工 CON側溝、一部撤去		
		後	全面高圧水洗浄、既設防水 膨れ部補修の上 超速硬化ウレタン塗膜防水、新設 平場:通気緩衝工法(X-1)、平場端部・立上り:密着工法(X-2)			後	平場増設 スロープ、新設 暗渠側溝、新設		
		前	既設笠木、既設ドレン、撤去			犬走り	改修	前	一部 土間コン金コテ押工、撤去 設備配管工事部
		後	アルミ笠木 W=200、改修用ドレン 100×2ヶ所、脱気筒×7ヶ所、新設					後	一部 土間コン金コテ押工、復旧
軒天	改修	前	アスベストボード t=4.0、撤去 天井下地残置、再利用	渡り廊下 自転車置場	改修	前	既設屋根(折板:山高H=88mm、t=0.6mm)、一時撤去 一部 土間コン金コテ押工、撤去 設備配管工事箇所		
		後	ケイカル板 t=6 目透かし張 外装薄塗材E、新設			後	既設屋根材、復旧 一部 土間コン金コテ押工、復旧 後付けアルミ庇:L2000×D200(外部アンカー止式)、新設		
雨樋	改修	前	軒樋:塩ビ 前高150、撤去 壁樋:塩ビ 90、撤去 既設養生管:鋼管 100・H=1800、撤去	破風・鼻隠し	改修	前	ラワンベニヤ OP塗装		
		後	軒樋:塩ビ 前高150、新設 集水器:塩ビ 大ます 壁樋:カラーVP 75、新設			後	既設塗装 撤去の上 SOP塗装、新設		
庇	改修	前	-		改修	前			
		後	後付けアルミ庇(W2000×D200・外部アンカー止式)、新設			後			

内部仕上表

階	室名	区分	床	巾木・腰壁	壁	天井	天井高	備考	
1階	玄関	改修	前	テラゾータイル張 t=60、撤去	テラゾータイル張 H=180	シャドーモザイクタイル張 t=15、撤去	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,550	
			後	既設仕上撤去跡 スロープ、床見切(SUS HL)、新設	現状のまま	既設タイル張 t=15、撤去の上 磁器質ポータータイル張、新設 LIXIL セラヴィオK程度	PB t=9.5下地 ロックウール化粧吸音板張 t=9.0、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	現状のまま	造付下駄箱×4ヶ所、新設
	ホール	改修	前	リリウム張 t=2.0、撤去	テラゾーブロック H=180	シャドーモザイクタイル張 t=15、撤去	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,400	建具、撤去
			後	既設仕上、撤去の上 長尺塩ビシート貼 t=2.5、新設	現状のまま	既設タイル張 t=15、撤去の上 磁器質ポータータイル張、新設	PB t=9.5下地 ロックウール化粧吸音板張 t=9.0、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	現状のまま	建具、新設
	アリーナ	改修	前	土間コン 塗床仕上	ラワン H120×t24 SOP塗装	南北西面:木下地 有孔ボード t=9 SOP塗装 東面:銘木化粧合板張	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装	7,600	防球ネット、遮光カーテン、コートライン、天吊運動器具、撤去 肋木、一時撤去
			後	既設仕上 下地処理の上 発泡複層ビニル床シート張 t=7.5以上、新設	既設巾木 SOP塗装	南北西面:既設仕上 部分補修の上 SOP塗装 東面:既設仕上 部分補修	既設鉄部のみ SOP塗装、新設	現状のまま	防球ネット、遮光カーテン、コートライン、新設 肋木、復旧
	ステージ	改修	前	ナラフローリング t=15張	ラワン H120×t24 SOP塗装	銘木化粧合板張	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	5,000	床框(単板張)、撤去 緞帳(水引幕、前後引幕、袖幕等)、撤去 椅子収納台車 幕板、撤去
			後	既設床面サンダー掛けの上 UC塗装 3回塗	現状のまま	現状のまま	ケイカル板 t=6 目透かし張 EP塗装 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	現状のまま	床框(ナラ単板張)、新設 緞帳(水引幕、前後引幕、袖幕等)、新設 椅子収納台車 幕板、新設
	通路 (旧女子トイレ)	改修	前	土間コン t=90、モザイクタイル張 t=30、撤去	タイル張 t=30、一部撤去	タイル張 t=30、間仕切壁、一部撤去	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,500	トイレブース、衛生器具等、撤去
			後	土間コン t=270 金コテ押工の上 防滑性防滑性長尺塩ビシート張 t=2.5、新設	既設CBの上 モルタル t=20 EP塗装	既設CBの上 モルタル t=20 EP塗装、新設 一部、LGS下地 ケイカル板 t=9 目透かし張 EP塗装、新設	ケイカル板 t=6 目透かし張 EP塗装、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	2,350	建具、開口部、新設
	みんなのトイレ (旧女子トイレ)	改修	前	土間コン t=90、モザイクタイル張 t=30、撤去	タイル張 t=30	タイル張 t=30、間仕切壁、一部撤去	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,500	トイレブース、衛生器具等、撤去
			後	土間コン t=270 金コテ押工の上 防滑性長尺塩ビシート張 t=2.5、新設	既設仕上、部分補修	既設仕上、部分補修 一部、LGS下地 ケイカル板 t=9 目透かし張 EP塗装、新設	ケイカル板 t=6 目透かし張 EP塗装、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	2,350	建具、衛生器具、新設
	男子トイレ	改修	前	土間コン t=90、モザイクタイル張 t=30、撤去	タイル張 t=30	同左	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,500	建具、トイレブース、衛生器具等、撤去
			後	土間コン t=270 金コテ押工の上 防滑性長尺塩ビシート張 t=2.5、新設 LIXIL キラミックステップ(テーパー仕様)程度	既設仕上、部分補修	既設仕上、部分補修 一部、LGS下地 100角陶器質タイル張、新設	ケイカル板 t=6 目透かし張 EP塗装、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	2,350	建具、トイレブース、衛生器具、新設
	女子トイレ (旧女子更衣室)	改修	前	モルタル下地 シート張 t=30	モルタル t=20 EP塗装	同左	アスベストボード t=4.0、撤去 下地は残置、再利用	2,500	建具、衛生器具、造作棚、撤去
			後	土間コン t=270 金コテ押工の上 防滑性長尺塩ビシート張 t=2.5、新設	現状のまま	既設仕上の上 100角陶器質タイル張 一部、LGS下地 100角陶器質タイル張、新設	ケイカル板 t=6 目透かし張 EP塗装、新設 廻縁:塩ビ t=9(Z型・目透し)	2,350	建具、トイレブース、衛生器具、新設
	倉庫 (旧男子更衣室・通路)	改修	前	モルタル下地 シート張 t=30	モルタル t=20 EP塗装	同左	LGS下地、アスベストボード t=4.0共、撤去	2,500	建具、衛生器具、造作棚、撤去
			後	土間コン t=180 金コテ押工の上 エポキシ系防塵塗料 t=0.3、新設	現状のまま	既設仕上の上 EP塗装、既設CBの上 モルタル t=20 EP塗装 一部、LGS下地 ケイカル板 t=9 目透かし張 EP塗装、新設	ALCアラワシ	3,100	建具、新設
	倉庫 (旧倉庫)	改修	前	土間コン 塗床仕上	モルタル t=20 EP塗装	同左	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装	3,100	建具、撤去
			後	既設土間コンの上 エポキシ系防塵塗料 t=0.3、新設	現状のまま	既設仕上の上 EP塗装	現状のまま	現状のまま	建具、新設
体育用具庫	改修	前	ナラフローリング t=15張	ラワン H120×t24 SOP塗装	木下地 有孔ボード t=9 SOP塗装	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装	-	建具、撤去	
		後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	建具、新設	
放送室	改修	前	ナラフローリング t=15張	ラワン H120×t24 SOP塗装	木下地 有孔ボード t=9 SOP塗装	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装	-	建具、撤去	
		後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	建具、新設	
キャットウォーク	改修	前	土間コン 塗床仕上	ALC OP吹付	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装 立上り壁:EP塗装	ALC OP吹付、鉄部アラワシ SOP塗装	-	建具、防球ネット、遮光カーテン、撤去	
		後	現状のまま	現状のまま	既設鉄部のみ SOP塗装 立上り壁:モルタルひび割れ、部分補修の上 EP塗装(見付、折返し)	既設鉄部のみ SOP塗装、新設	現状のまま	建具、防球ネット、遮光カーテン、新設 既設カーテンBOX SOP塗装	

PROJECT			PROJECT NO.	
新居小学校屋内運動場大規模改修工事				
DRAWING			SCALE	
内外仕上表				
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			'19.03.	
			DRAWING NO.	
			A - 5	



《仮設工事 凡例》

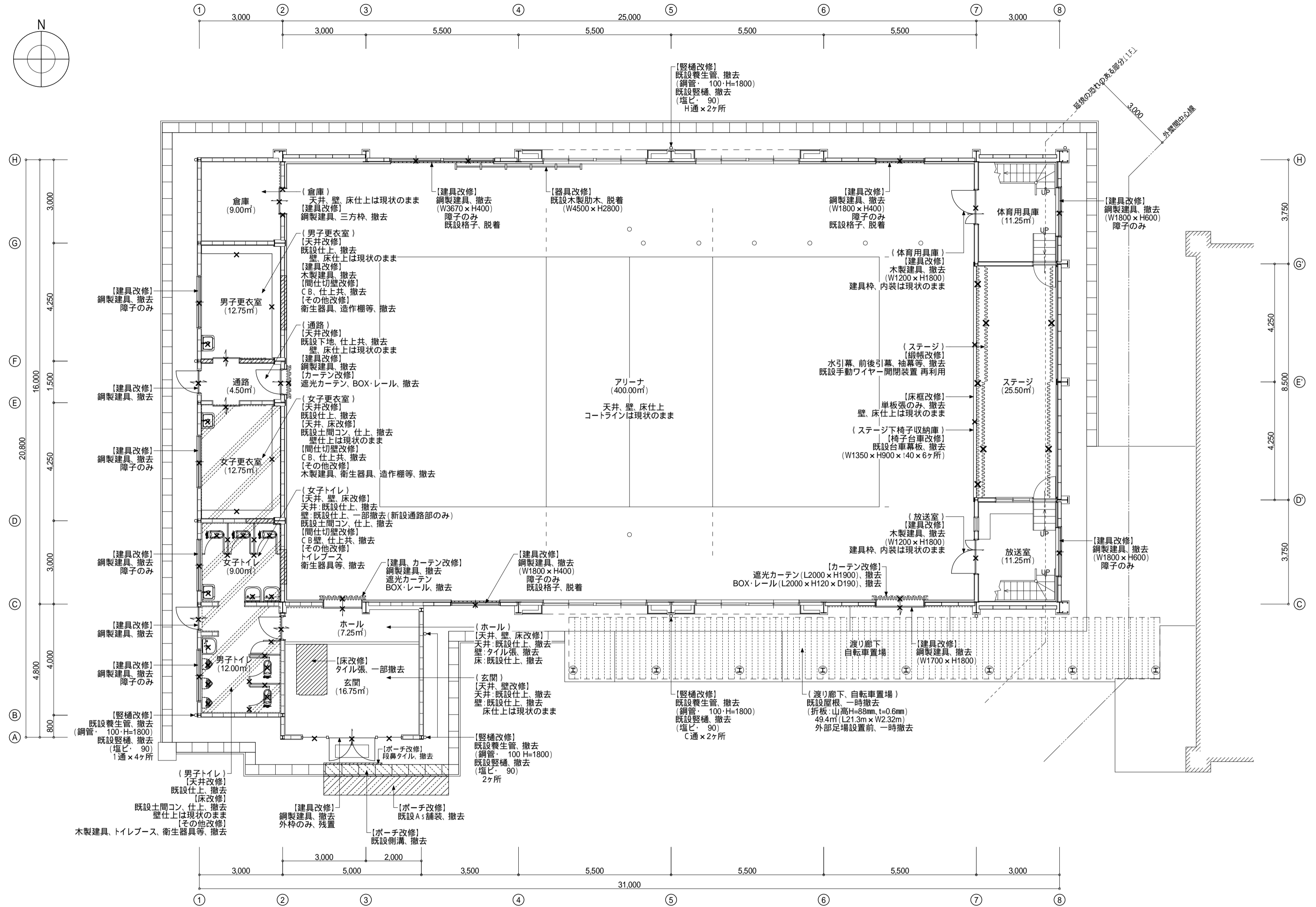
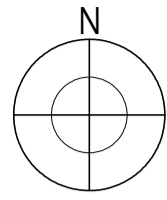
No.	種別
①	仮囲い: 防音シート張 (H2.0m・支柱単管 @1800共) L=85.0m 通用口: 鋼製片開きドア (W0.9×H2.0m) ×1ヶ所
②	工事車輛進入口: 既設アルミ伸縮門扉 利用
③	外部足場①: くさび緊結式足場 (手すり先行方式・建地幅 600) 防炎養生シート張共 H=9.5m×L=72.1m
	外部足場②: くさび緊結式足場 (手すり先行方式・建地幅 600) 防炎養生シート張共 H=5.0m×L=45.3m ※下屋外周設置
④	外部足場③: くさび緊結式足場 (手すり先行方式・建地幅 600) 防炎養生シート張共 H=6.5m×L=25.5m ※下屋屋上設置
	学童用仮設通路: 砕石敷き t=150・16.0㎡ (L16.0m×W1.0m) ※通路幅員は可能な限り、有効1.0m確保する
⑤	作業員休憩所 (プレハブ・平屋建・15㎡程度)
⑥	仮設トイレ (汲取り式・小便器、大便器×各1棟程度)
⑦	A型バリケード (W1.2m×H0.8m) ※学童登下校時以外、仮設通路入口に設置
⑧	学童用仮設階段 (くさび緊結式足場) 2.33㎡ (L2.74m×W0.9m×H0.8m) ※参考図参照
⑨	交通誘導員 配置位置示ス
⑩	渡り廊下、自転車置場 屋根、一時撤去→復旧 49.4㎡ (L21.3m×W2.32m) ※外部足場設置前、一時撤去→足場撤去後、復旧

※資材搬入出時には周囲を確認しながら誘導を行う
 ※配置位置は敷地出入口付近とする (詳細な位置は監督員の指示によるものとする)
 ※搬入経路は、道幅が狭く近隣に住宅が建ち並ぶ為、通過する際は地元車輛優先、及び最徐行にて通過すること
 ※学校の運営、及び学童の登下校に支障のないように配慮すること
 ※作業中の解体物、資材の搬入出には十分な安全を確保すること

【既設フェンス、改修】
 学童用仮設階段 入口フェンス、一時撤去→復旧
 (メッシュフェンス・L2.0m×H1.1m)
 ※フェンス部のみ、支柱は別途
 ※工事完了後、復旧

配置図 1:300

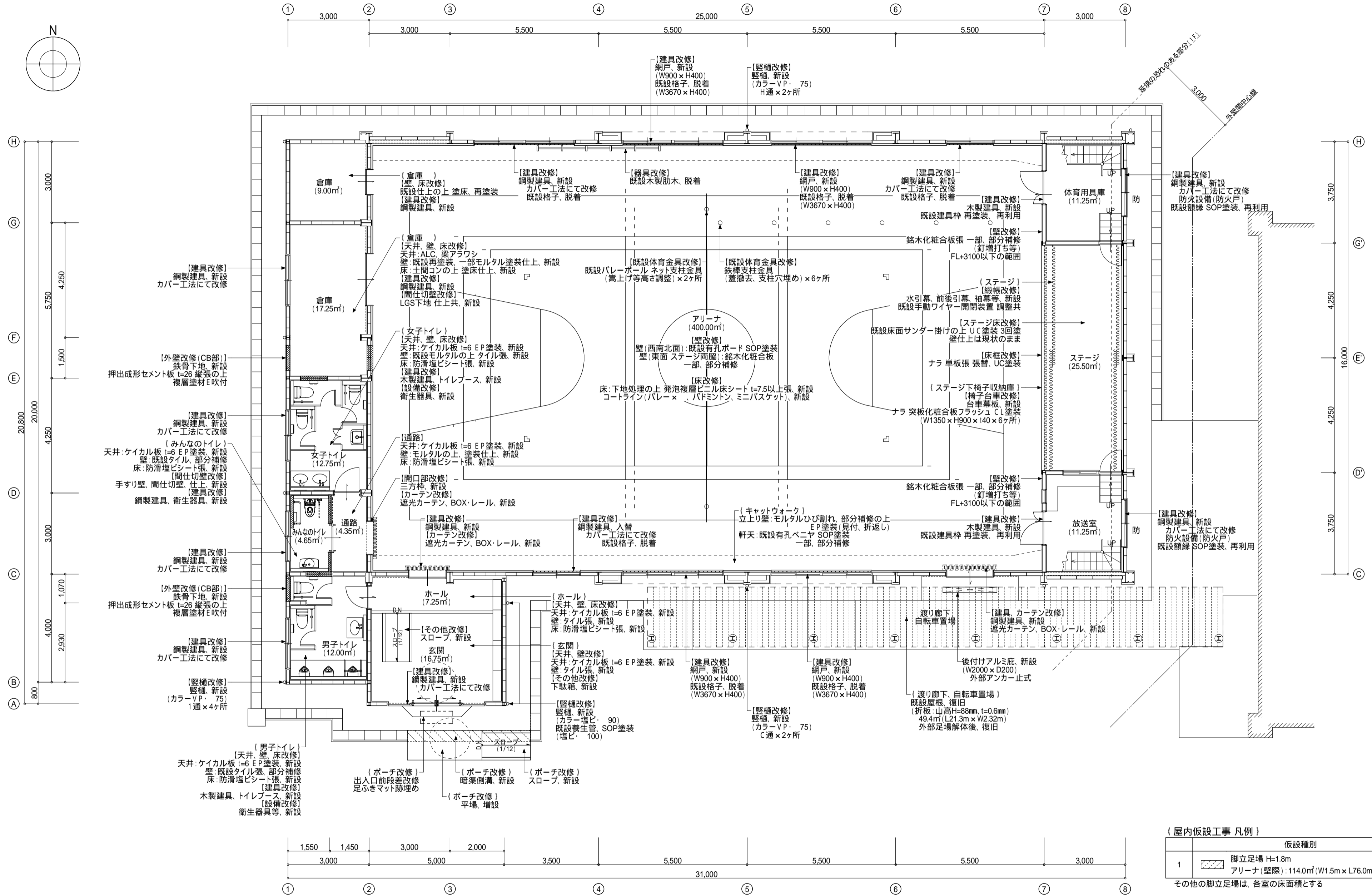
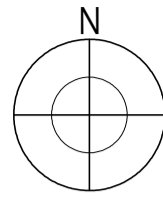
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事		PROJECT NO.	
DRAWING 配置図兼仮設計画図		SCALE 1:300	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-6



// ALC, CB
 CON等 } 撤去区分示ス
 × 建具, 造作
 衛生器具等

1F 平面図 1:100

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.
DRAWING 1F 平面図 (改修前)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-7

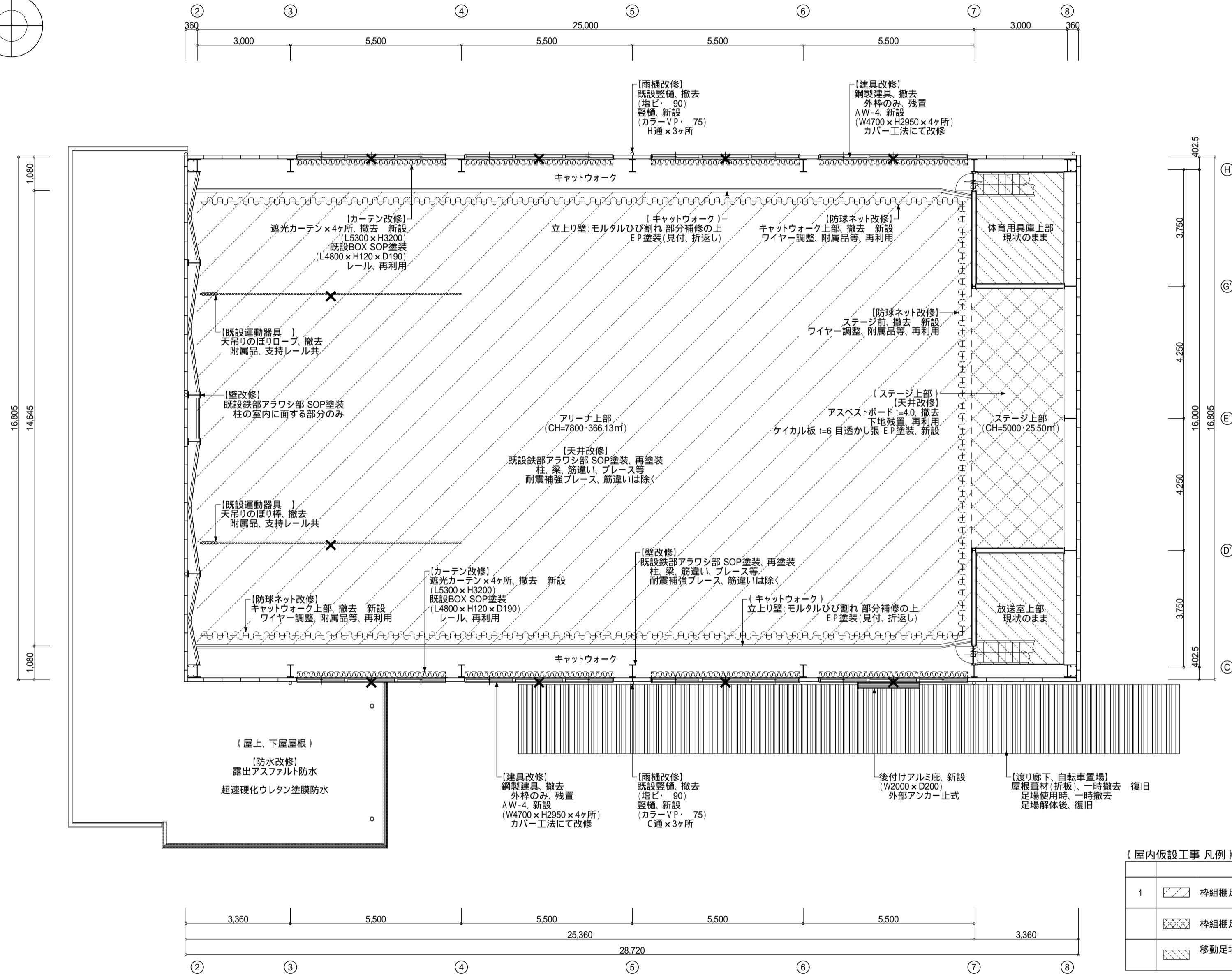
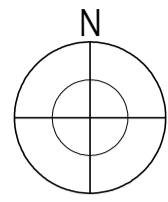


(屋内仮設工事 凡例)

仮設種別	
1	脚立足場 H=1.8m アリーナ(壁際): 114.0㎡ (W1.5m x L76.0m) その他の脚立足場は、各室の床面積とする

: 間仕切り壁等、改修区分示ス
 ...室名札 取付箇所示ス(5ヶ所)
 ...ピクトサイン 取付箇所示ス(5ヶ所)
 1F 平面図 1:100

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 1F 平面図(改修後)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-8



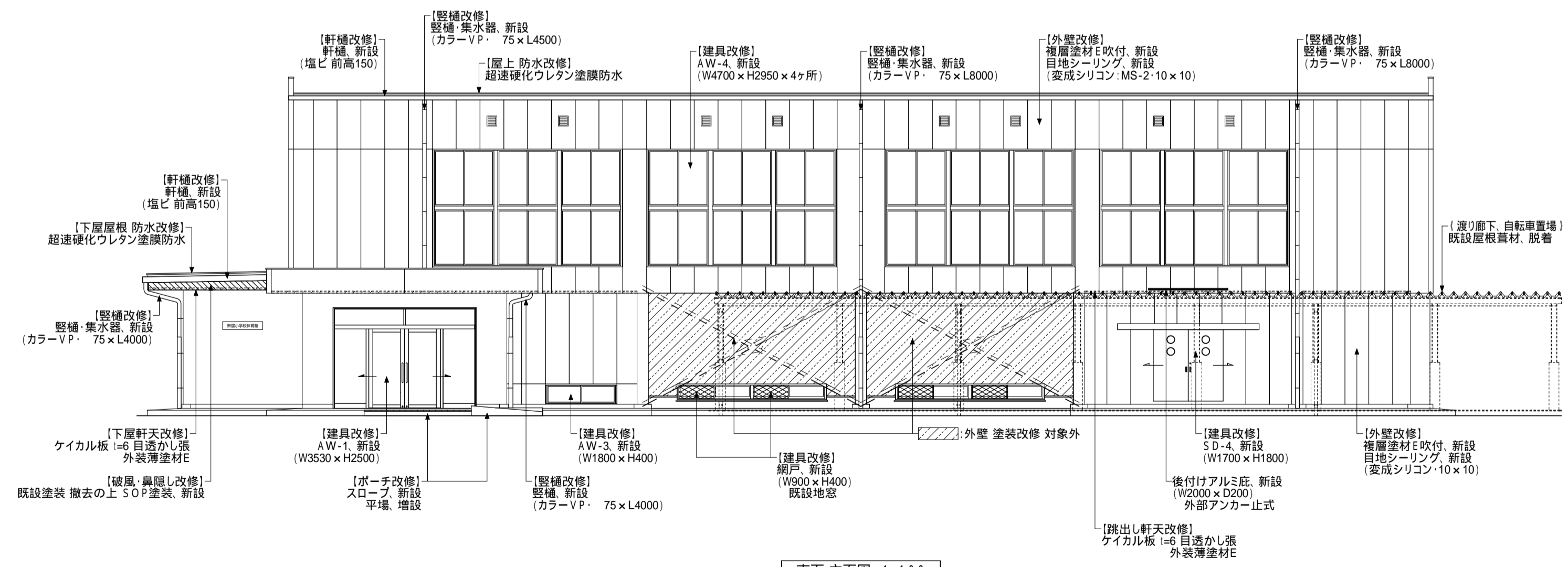
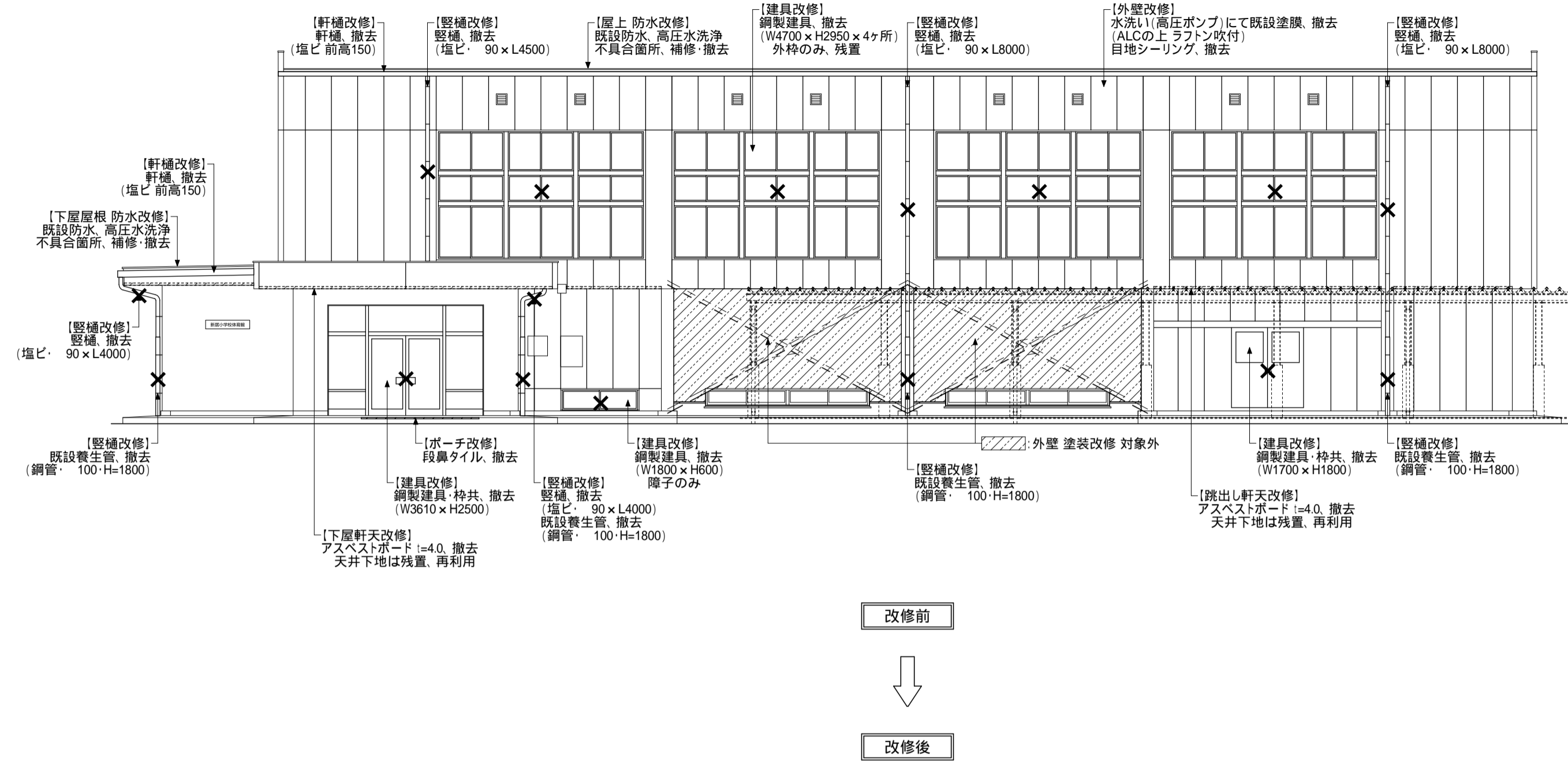
(屋内仮設工事 凡例)

仮設種別	
1	枠組棚足場(くさび緊結式) H=6.0m
	枠組棚足場(くさび緊結式) H=3.0m
	移動足場(ローリングタワー) H=5.4m 電気工事等に使用

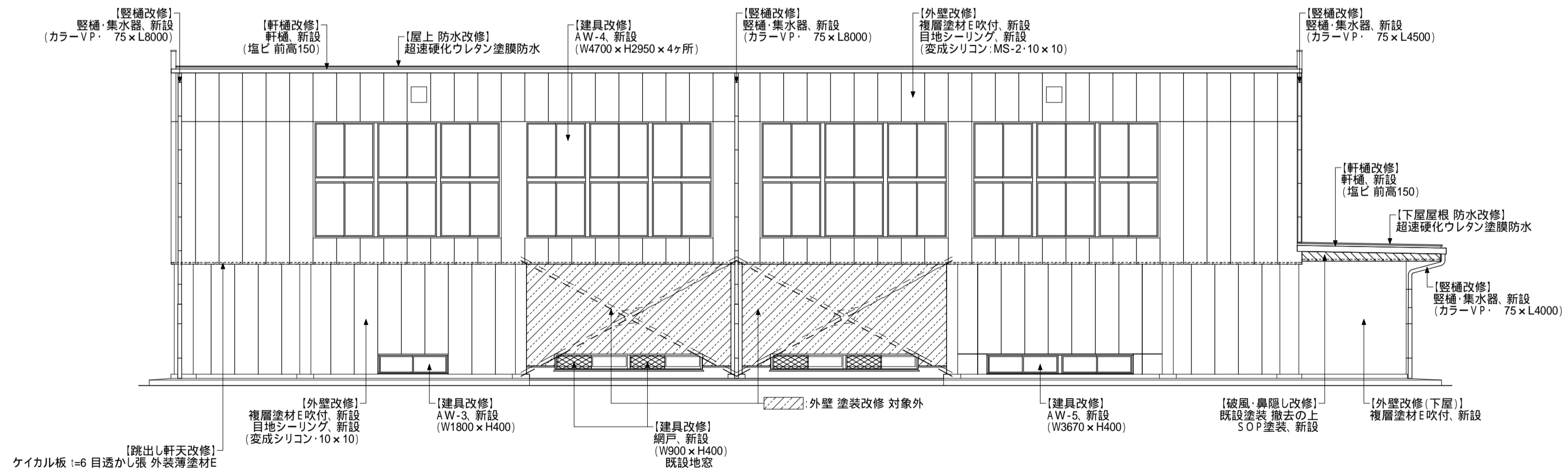
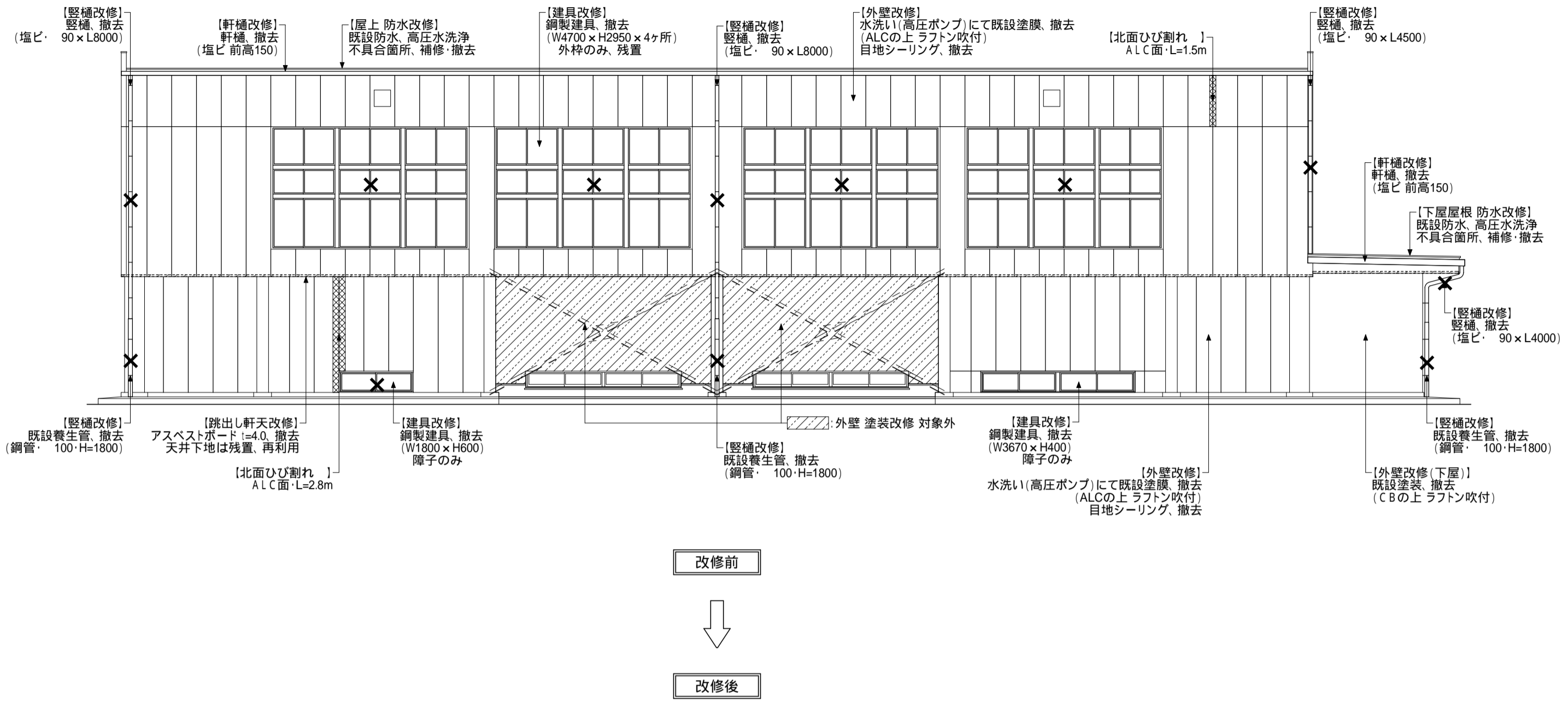
// : 間仕切り壁等、改修区分示
 // : ALC、CB、CON等
 x : 建具、造作衛生器具等 } 撤去区分示

RF 平面図 1:100

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING RF 平面図(改修前・後)・仮設計画図			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-9



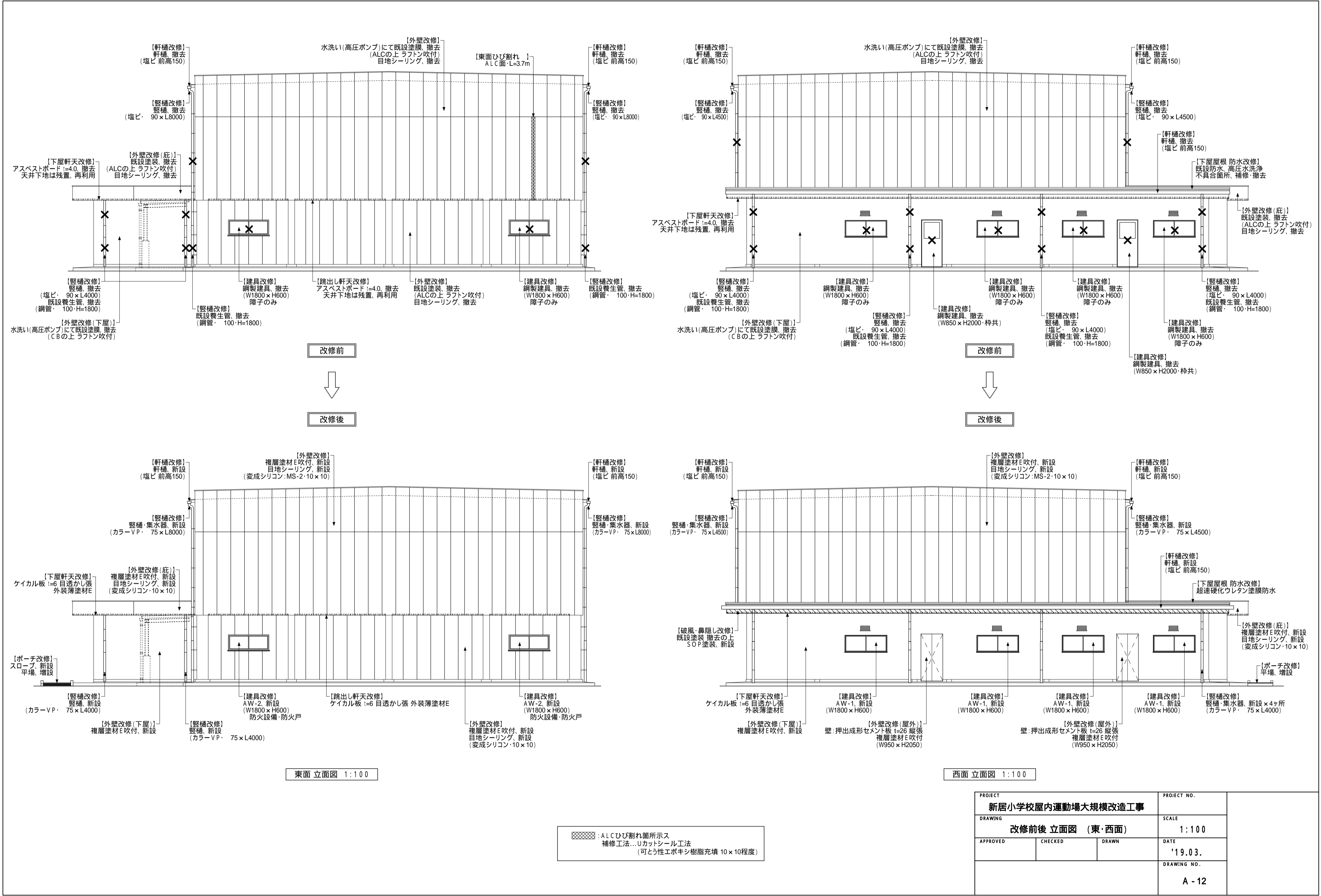
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.
DRAWING 改修前後 立面図 (南面)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 10



北面 立面図 1:100

☒: ALCひび割れ箇所示す
補修工法...Uカットシール工法
(可とう性エポキシ樹脂充填 10×10程度)

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 改修前後 立面図 (北面)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 11

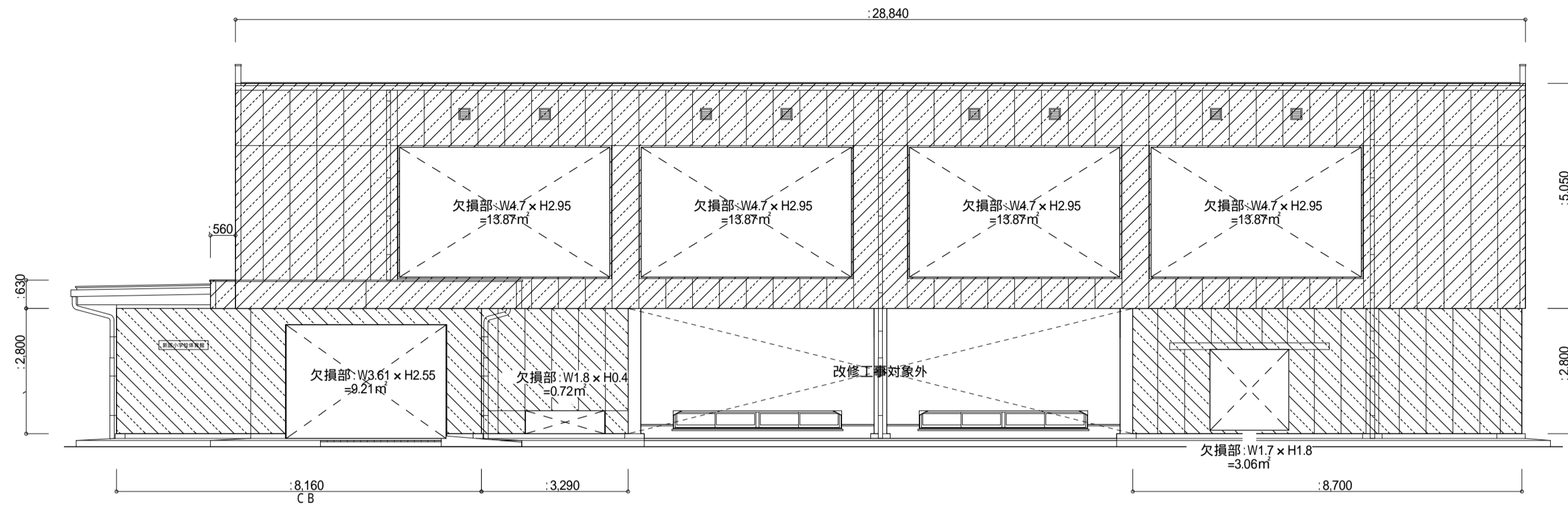


東面立面図 1:100

西面立面図 1:100

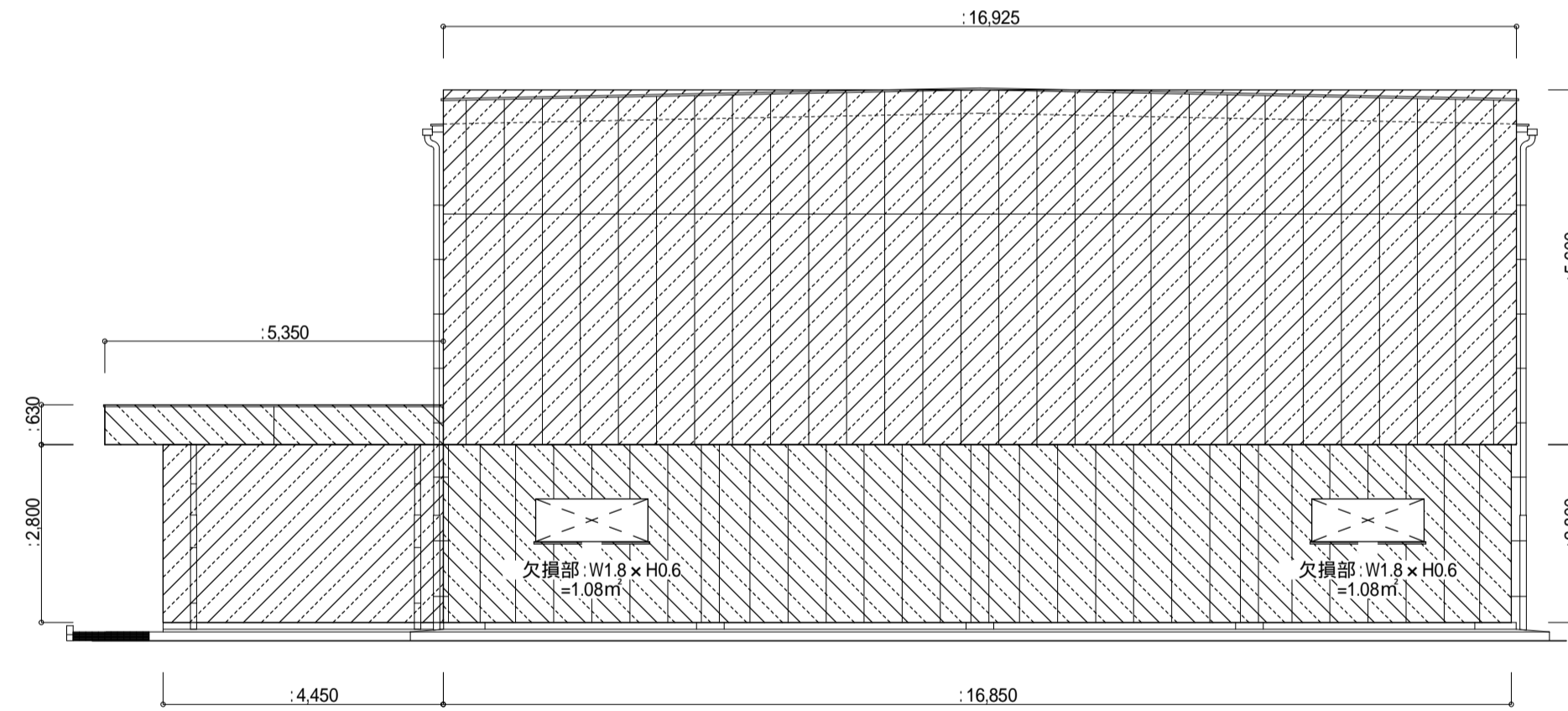
: ALCひび割れ箇所示す
 補修工法...Uカットシール工法
 (可とう性エポキシ樹脂充填 10×10程度)

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 改修前後 立面図 (東・西面)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A-12



外壁改修前には、外壁の事前調査を行い、ひび割れ状況を確認すること

南面 立面図 1:100



外壁改修前には、外壁の事前調査を行い、ひび割れ状況を確認すること

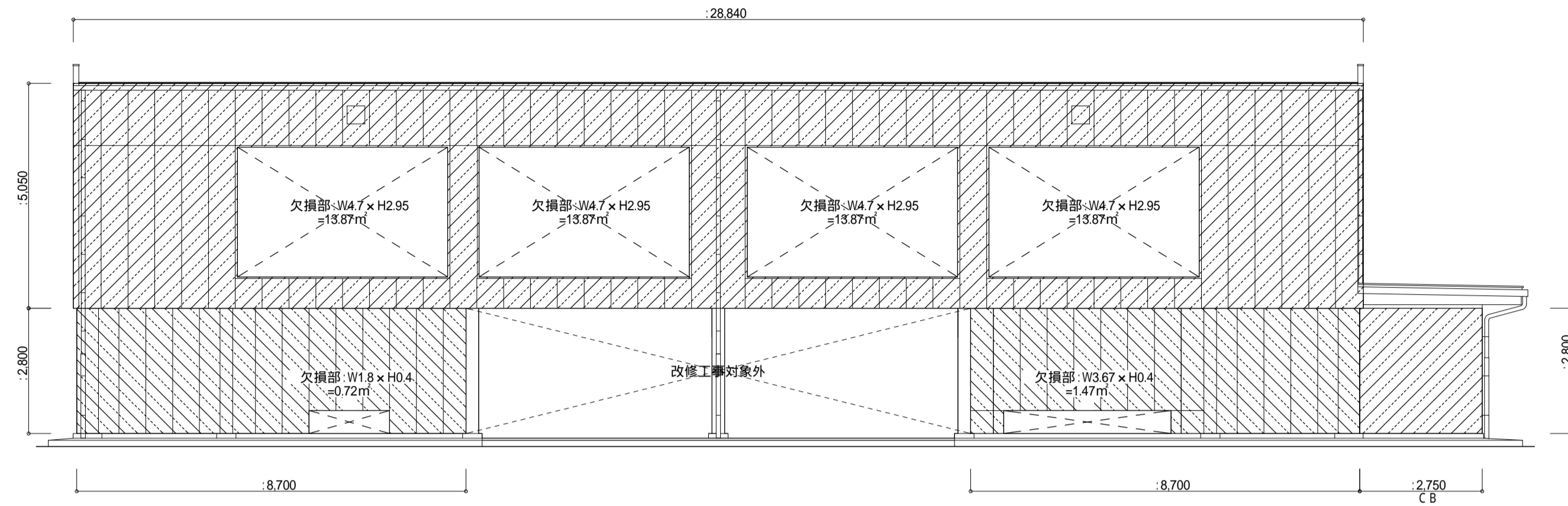
東面 立面図 1:100

外壁の既存塗膜(ラフン吹付)を
水洗い(高圧ポンプ)後、吹付改修をおこなう

□--□ : 欠損箇所(開口部)示す
 ▨ : 複層塗材E吹付 施工箇所示す
 ALCひび割れ補修...エポキシ樹脂充填工法

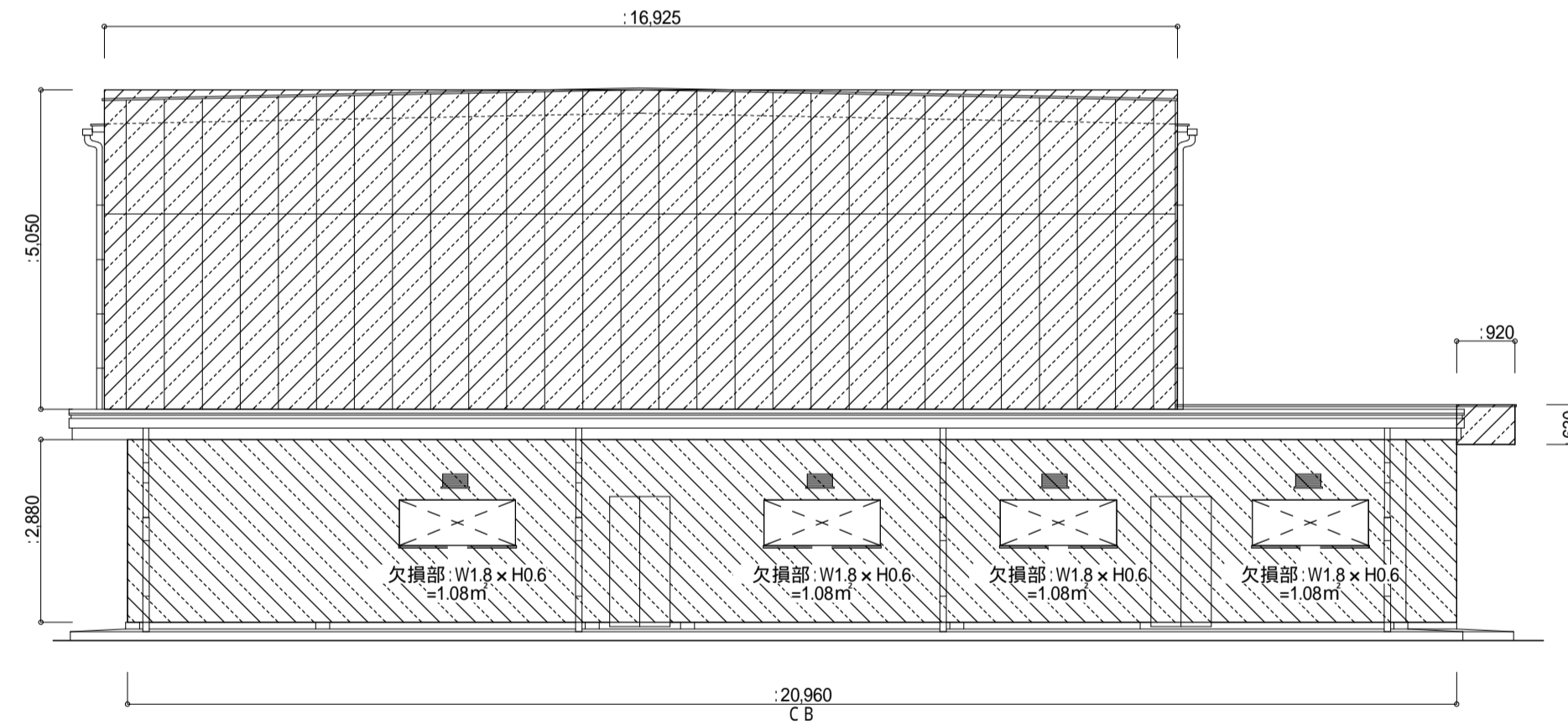
▩ : ALCひび割れ箇所示す
 補修工法...Uカットシール工法
 (可とう性エポキシ樹脂充填工法)

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 外壁吹付工事 (南・東面)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 13



外壁改修前には、外壁の事前調査を行い、ひび割れ状況を確認すること

北面 立面図 1:100



外壁改修前には、外壁の事前調査を行い、ひび割れ状況を確認すること

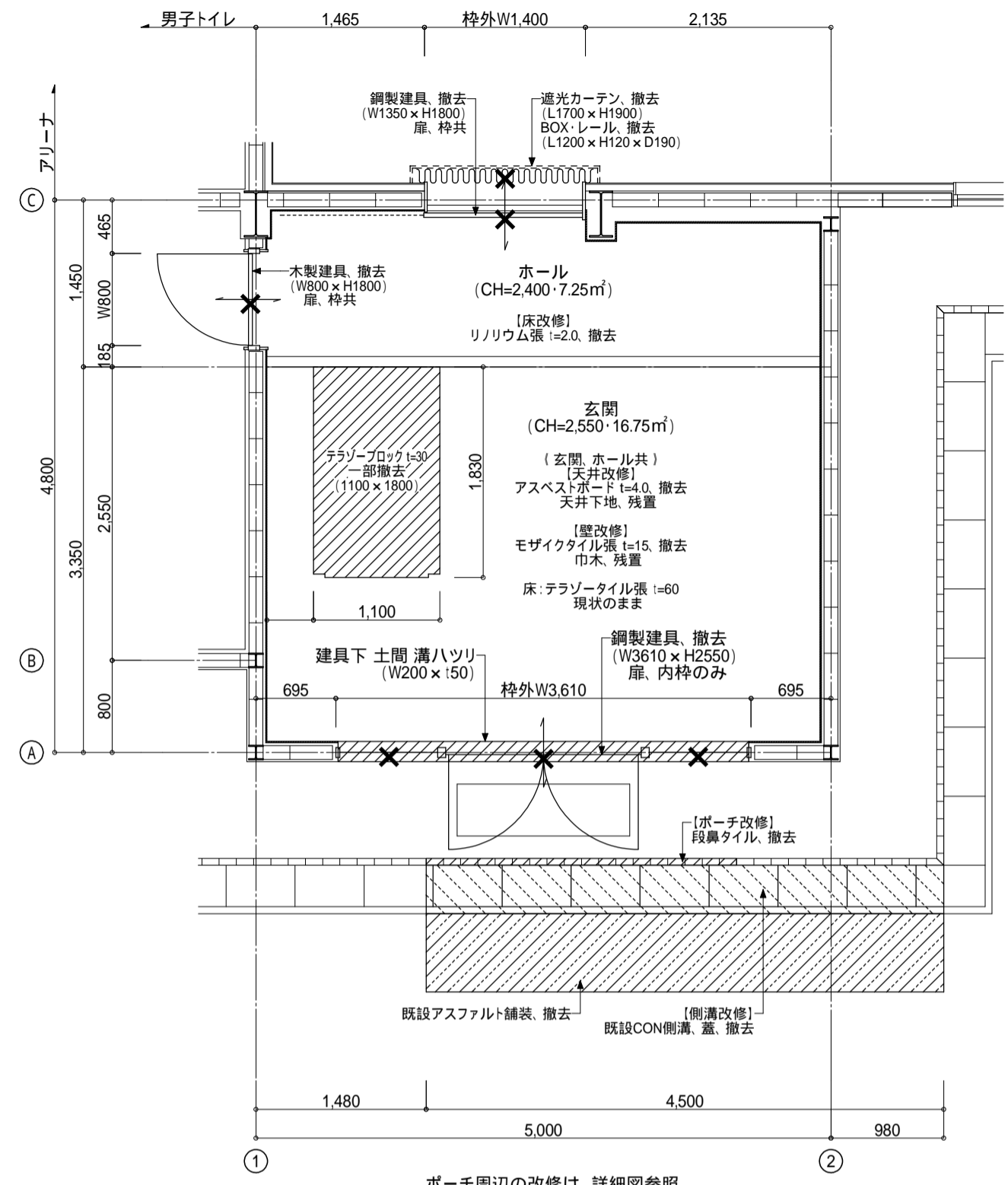
西面 立面図 1:100

外壁の既存塗膜(ラフン吹付)を
水洗い(高圧ポンプ)後、吹付改修をおこなう

□-□ : 欠損箇所(開口部)示
 [斜線] : 複層塗材E吹付 施工箇所示
 [点線] : ALCひび割れ補修...エポキシ樹脂充填工法

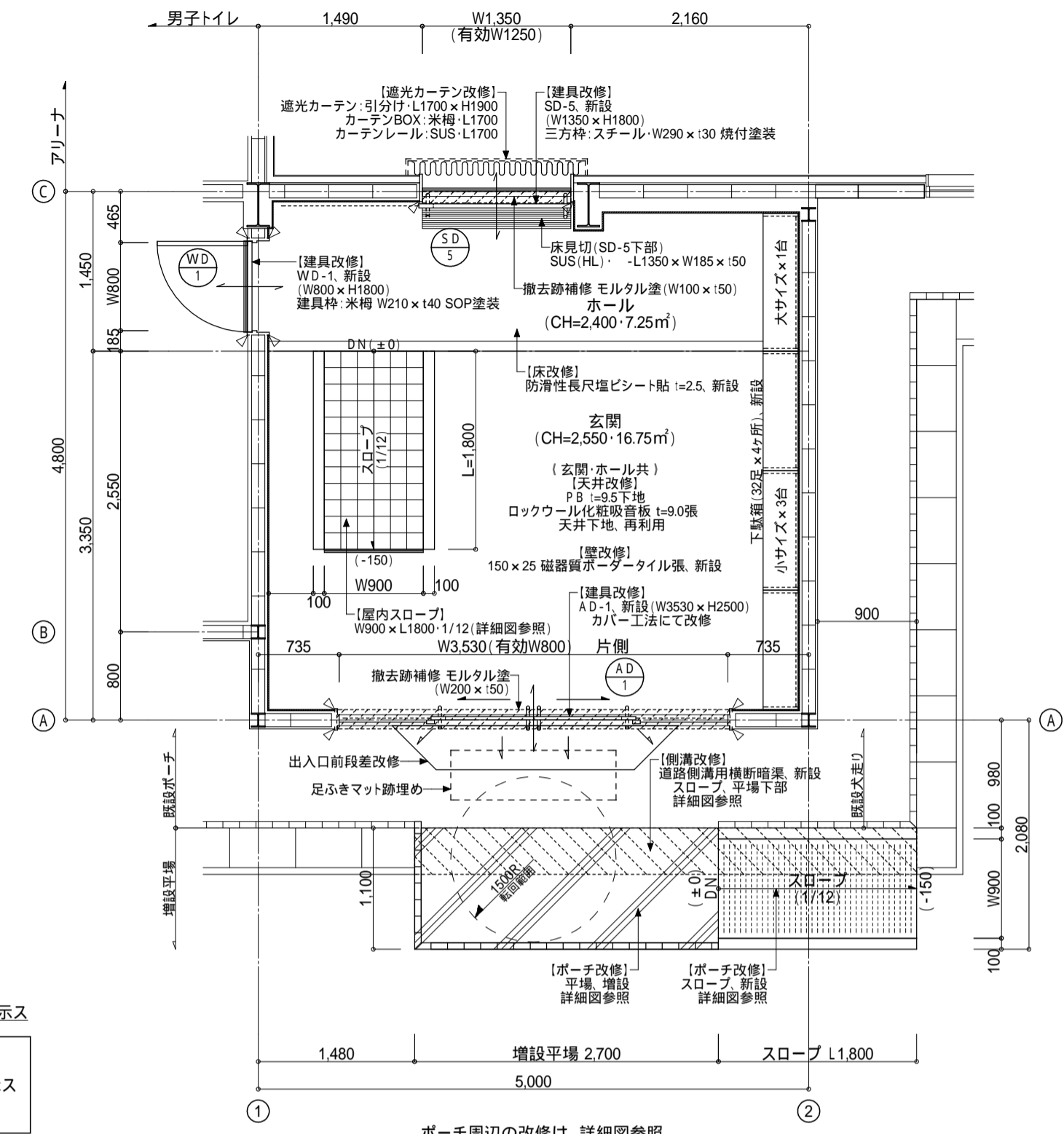
[格子] : ALCひび割れ箇所示
 補修工法...Uカットシール工法
 (可とう性エポキシ樹脂充填工法)

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 外壁吹付工事 (北・西面)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 14



ポーチ周辺の改修は、詳細図参照
改修前

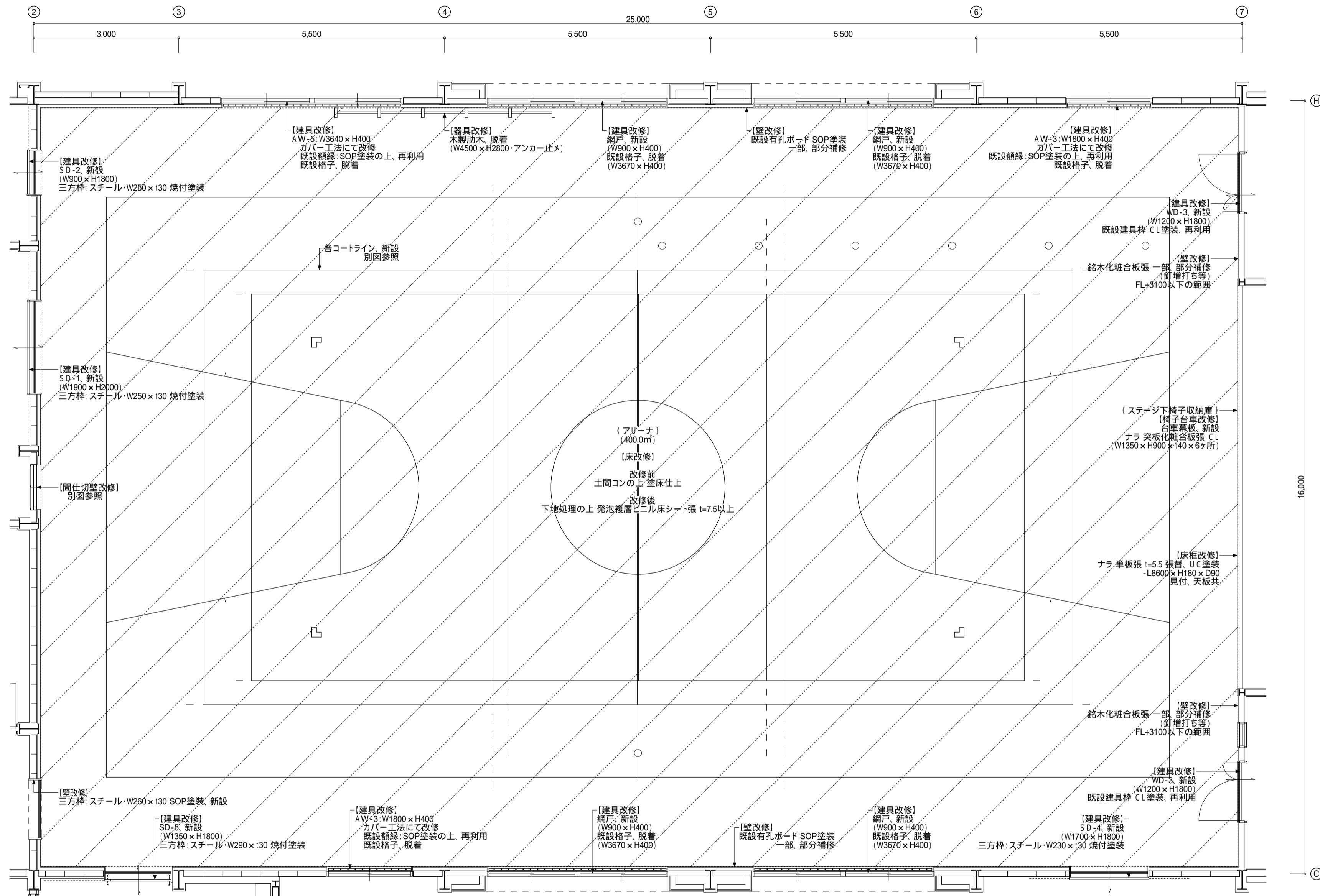
玄関・ホール 改修平面図 1:50



ポーチ周辺の改修は、詳細図参照
改修後

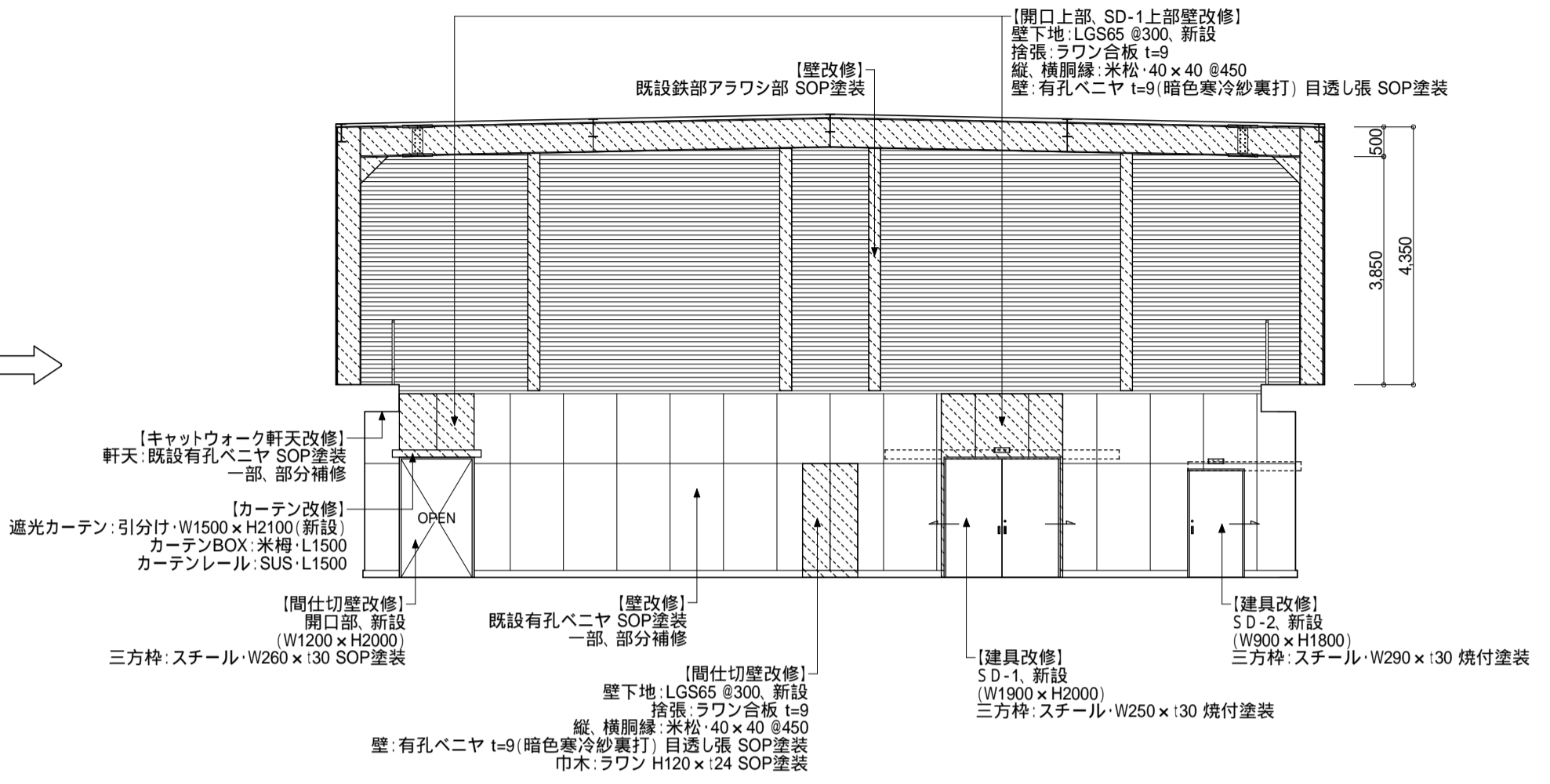
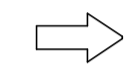
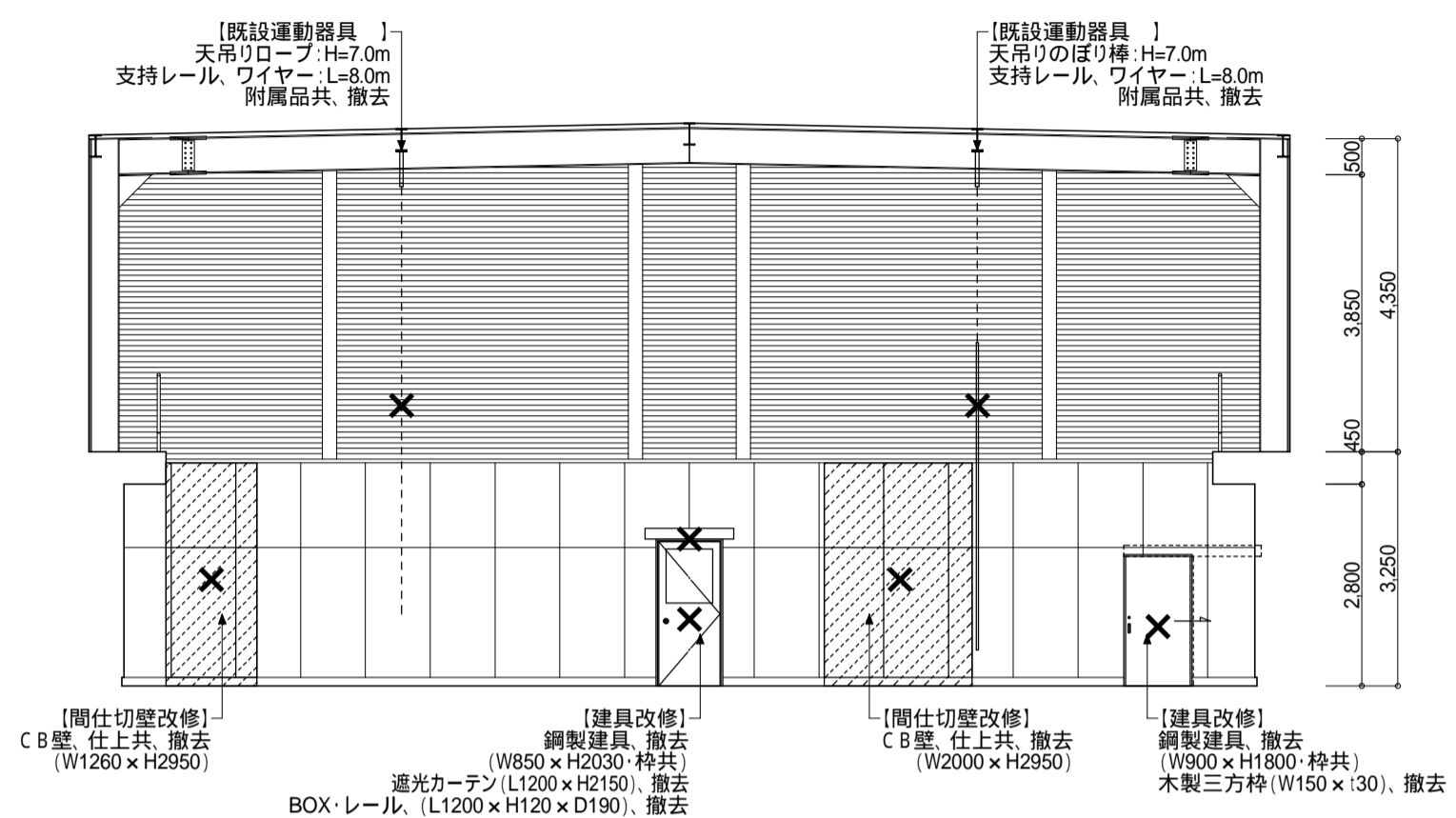
改修区分	撤去 建具			新設 建具					
種別/戸板x数量	片引きスチールハンガードア:W250 x 130/140 x			欄間FIX付両袖FIX両開きスチールドア:W86 x 135/140 x			片開き木製ドア:W210 x 140/133 x		
図	<p>戸板、枠共、撤去</p>			<p>外枠のみ、残置</p>			<p>戸板、枠共、撤去</p>		
改修区分	SD 5			AD 1			WD 1		
見込	250	30	1	70	-	1	210	40	1
図									

PROJECT	新居小学校屋内運動場大規模改修工事		PROJECT NO.
DRAWING	各部改修 詳細図 (玄関・ホール)		SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			'19.03.
			DRAWING NO.
			A - 15



床シート張 施工範囲示ス
アリーナ 平面図 1:60

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改造工事			PROJECT NO.
DRAWING 各部改修 詳細図 (アリーナ)			SCALE 1:60・1:20
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 16



[Hatched pattern] : 間仕切り壁等、改修区分示ス
 [Diagonal lines] : 間仕切り壁内装等 } 撤去区分示ス
 [X] : 建具、造作等

既設鉄部アラワシ部は、耐震補強工事により改修された筋違い、水平プレースを除いた、既存の梁・柱、筋違い及び水平プレースを施工対象とする

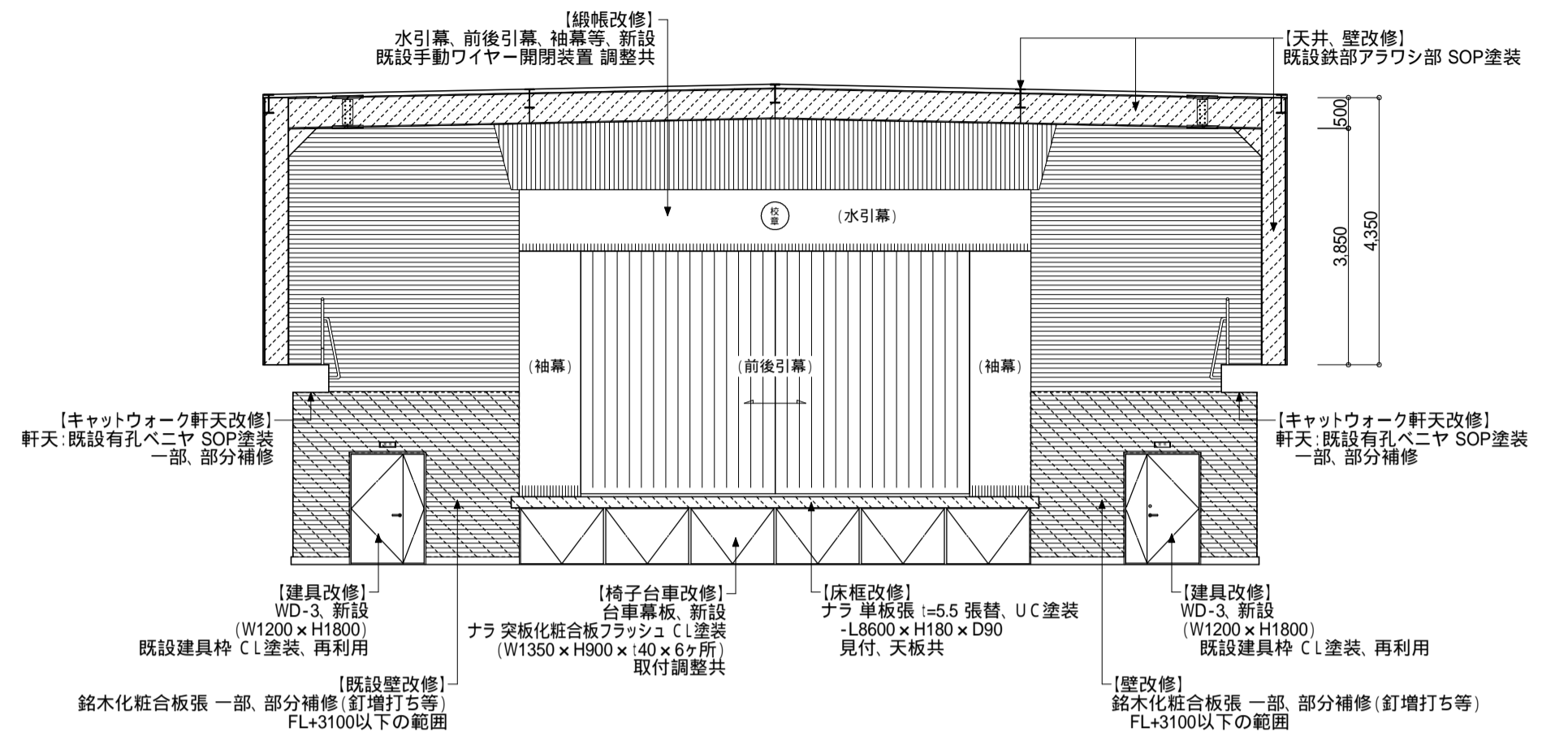
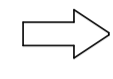
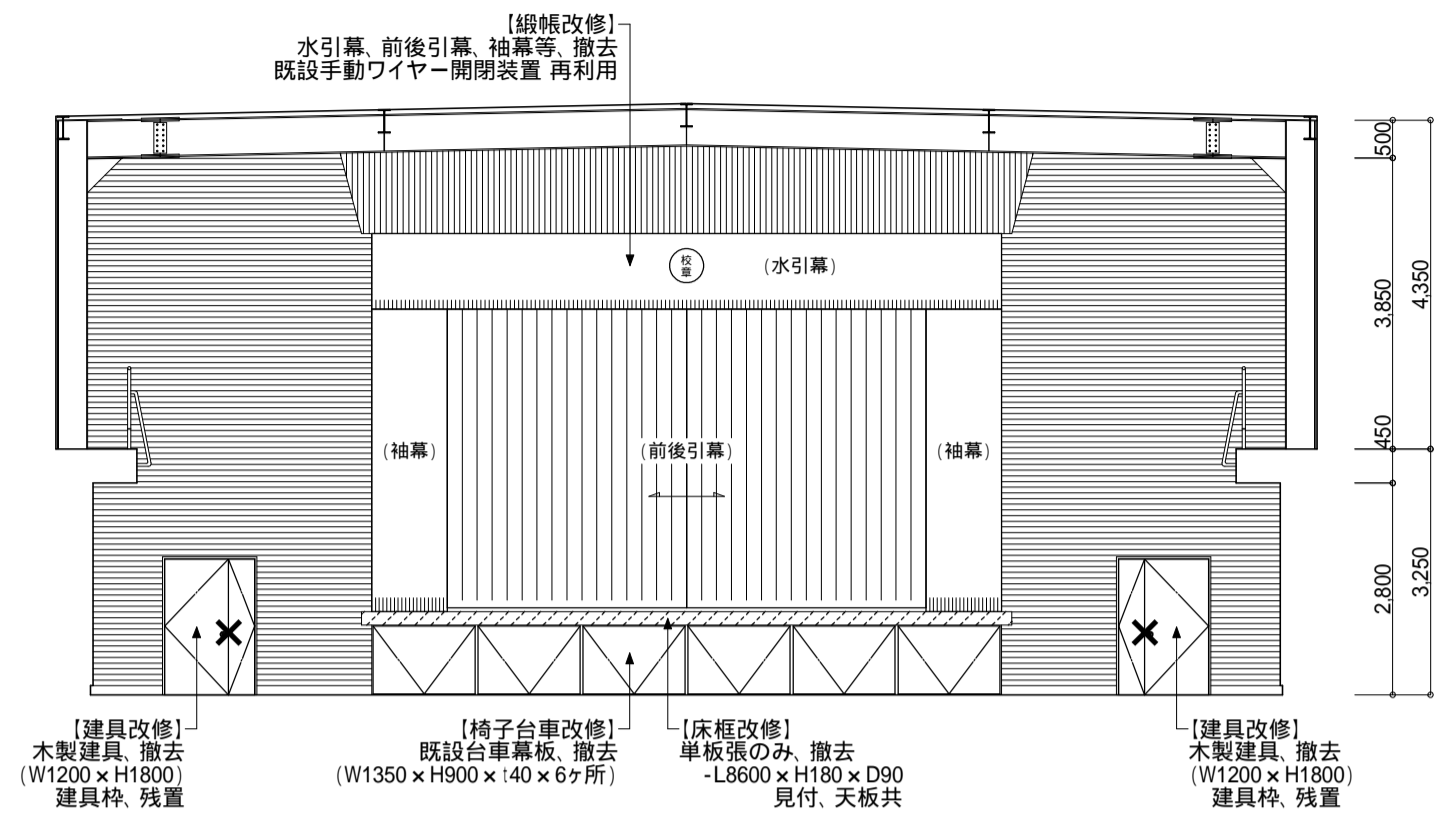
改修前

アリーナ 2通 展開図 1:100

改修後

改修区分		撤去 建具					
種別	枠/戸板 x 数量	片開きスチールドア: W86 x t40 / t36 x			片引きスチールハンガードア: W250 x t30 / t40 x		
姿	図						
改修区分		新設 建具					
記号	見込 枠/庫 数量	(SD 1)	250	30	1	(SD 2)	250 30 1
姿	図						

PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 各部改修 詳細図 (アリーナ)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 17



(ステージ 撤去織帳仕様)
 水引幕: W8500 x H1000 x 1ヶ所
 袖幕: W1000 x H5000 x 2ヶ所
 引幕(前): W8500 x H5000 x 1ヶ所
 引幕(後): W8500 x H5000 x 1ヶ所

改修前

▨ : 間仕切り壁等、改修区分示
 ▨ : 間仕切り壁 内装等 } 撤去区分示
 × : 建具、造作等

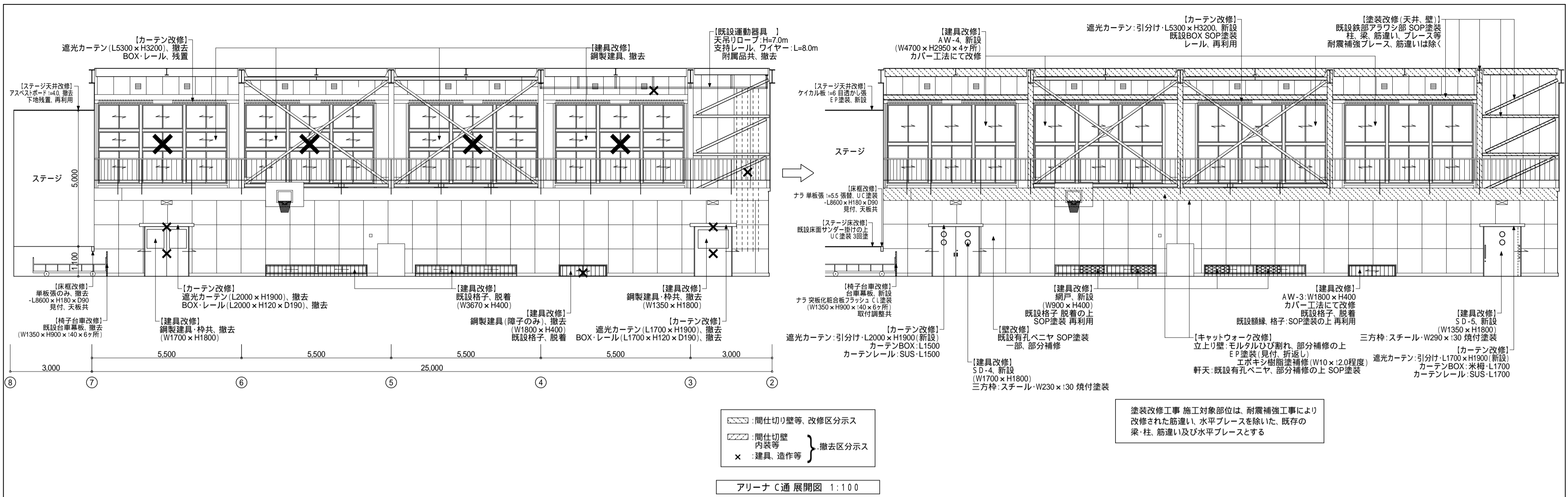
アリーナ 7通 展開図 1:100

(ステージ 新設織帳仕様)
 水引幕: W8500 x H1000 x 1ヶ所 (校章 450 本刺繍、ヒダナシ・裏地付、フレンジ4寸)
 袖幕: W1000 x H5000 x 2ヶ所 (ヒダナシ・裏地付、フレンジ6寸)
 引幕(前): W8500 x H5000 x 1ヶ所 (2倍ヒダ)
 引幕(後): W8500 x H5000 x 1ヶ所 (2倍ヒダ)
 生地はバルコ程度
 現場にて採寸、寸法の最終確認をおこなうこと

改修後

改修区分		撤去 建具		
種別	枠/戸板 x 数量	親子木製ドア: W210 x t40/t36 x		
姿	図			
改修区分		新設 建具		
記号	見込 枠/扉 数量	WD 3	2 1 0	4 0
姿	図			

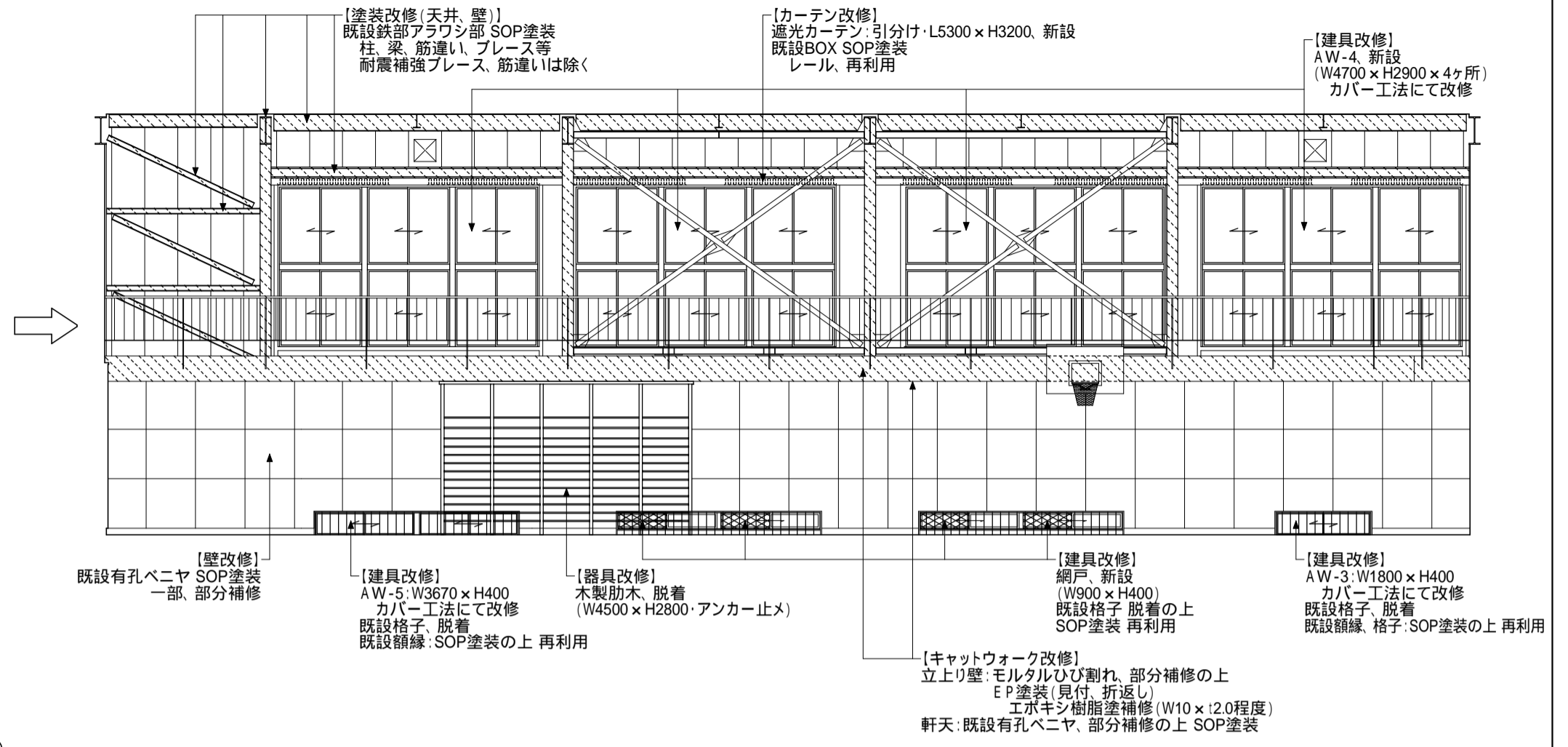
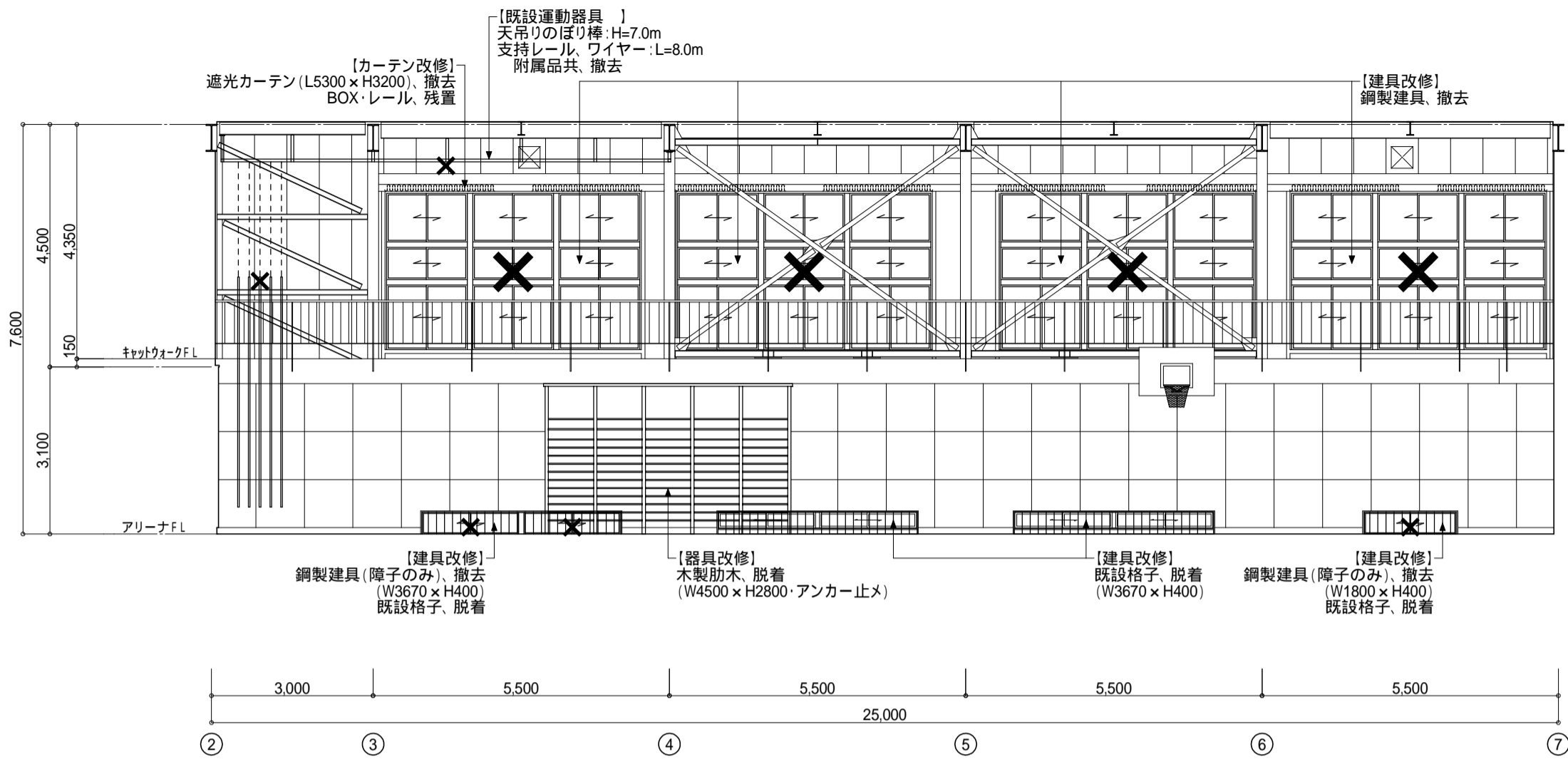
PROJECT 新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 各部改修 詳細図 (アリーナ)			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '19.03.
			DRAWING NO. A - 18



改修区分		撤去 建具			
種別	戸/扉×数量	片引きスチールハンガードア:W250×t30/t40×		片引きスチールハンガードア:W250×t30/t40×	
窓	図				
種別	戸/扉×数量	2枚建引違いスチール窓:W86×t40/t30×、スチール格子:W30×		2枚建引違いスチール連窓(3列×3段):W86×t40/t30×	
窓	図				
改修区分		新設 建具			
記号	見込 枠:庫	数量	④	⑤	③
窓	図				
記号	見込 枠:庫	数量	①	-	④
窓	図				

塗装改修工事 施工対象部位は、耐震補強工事により改修された筋遣い、水平ブレースを除いた、既存の梁・柱、筋遣い及び水平ブレースとする

PROJECT	新居小学校屋内運動場大規模改造工事	PROJECT NO.	
DRAWING	各部改修 詳細図 (アリーナ)	SCALE	1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			'19.03.
			DRAWING NO.
			A-19



[Hatched] : 間仕切り壁等、改修区分示
 [Dotted] : 間仕切壁内装等 } 撤去区分示
 [X] : 建具、造作等

塗装改修工事 施工対象部位は、耐震補強工事により改修された筋違い、水平ブレースを除いた、既存の梁・柱、筋違い及び水平ブレースとする

アリーナ H 通 展開図 1:100

改修区分		撤去 建具				新設 建具									
種別/枠/戸板×数量	2枚建引違いスチール窓:W86×t40/t30、スチール格子:W30×				2枚建引違いスチール連窓(3列×3段):W86×t40/t30×				2枚建引違いスチール連窓:W86×t40/t30、スチール格子:W30×						
窓 図															
改修区分	AW 3				AW 4				AW 5						
記号	見込	数量	70	-	2	70	-	8	70	-	1	網	-	-	8
窓 図															

PROJECT	新居小学校屋内運動場大規模改修工事			PROJECT NO.
DRAWING	各部改修 詳細図 (アリーナ)			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	'19.03.
				DRAWING NO.
				A - 20